京城日報 朝刊

河出書房新刊
行政行爲の瑕疵 柳瀨良幹著
支那人の宗教 グラネ著 津田逸夫譯
戰時立法 第二年 中川善之助編 價一・七〇

貴衆兩院ともに 先議案悉く議了
追加豫算案、衆院通過
臨時議會第二日

【東京電話】國內決戰態勢の整備を期する第八十三臨時議會は第二日の廿七日貴衆兩院とも政府提出の先議案を悉く議了、相互にこれを交換すると共に追加豫算案も衆議院を通過、貴族院へ送付され、廿八日愈々議會の最終日を迎へ法律案十四件、豫算案三件全部の通過成立に最後の努力を傾注することとなつた

すなはち廿七日貴族院は工業所有權法案並に兵役法中改正法案を衆議院に送付したのち、爾餘の先議案件は委員會の終了を俟つて逐次本會議に上程可決して衆議院に送付、次いで衆議院より送付の會計法戰時特例法中改正法律案など五件を何れも特別委員會に附託、休憩に移り、更に貴族院は午後八時まで待機して衆議院より軍需會社法案及び應召議員法案關係二件が送付されるのを待ち本會議に緊急上程して政府側の説明あつて特別委員に附託した

これに對して衆議院も豫算總會及び軍需會社法案委員會に議題の焦點をおき各委員會一齊に午前午後に亘つて寔に熱烈な審議を續行、政府施策の動向と國策遂行の方途に關し眞摯建設的な論議を展開した、即ち豫算總會においては東條首相並に重光外相より大東亞戰爭の根本義と大東亞建設の理念が闡明され、特別委員會に於ては軍需會社法の適用範圍、運營方針などにつき岸國務相より注目すべき説明があり、先議案八件、豫算案三件全部を議了し逐次本會議に上程可決して貴族院へ送付したが貴族院より送付を受けた法律案六件についても本會議に緊急上程して委員附託した

貴族院本會議

【東京電話】廿七日の貴族院本會議は午後一時十七分開會、松平議長より本日宮中に參內、勅語奉答書を捧呈したるところ重ねて優渥なる勅語を賜つた旨を報告し、總員起立裡に勅語を謹聽したるのち日程に入り委員會可決の

一、工業所有權法戰時特例案（政府提出）

を上程、高橋委員長より委員會の經過並に結果を報告して可決、次いで

一、兵役法中改正法律案（同上）

を上程、溝口委員長の報告通り可決、右二件を直ちに衆議院に送付し同一時四十五分休憩、午後三時廿五分再開衆議院より送付された

一、會計法戰時特例中改正法律案（政府提出、衆議院送付）
一、帝國鐵道會計法中改正法律案（同上）
一、所得税および地租法中改正法律案（同上）
一、國有財産法中改正法律案（同上）
一、國債關係事務簡捷化に關する法律案（同上）

の五件を一括して緊急上程、谷口大藏次官の提案理由説明あり、十五名の委員に附託、ついで日程を追加し

一、裁判所構成法戰時特例中改正法律案
一、戰時民事特別法中改正法律案
一、戰時刑事特別法中改正法律案

を一括上程、委員長酒井忠正伯より委員會の經過並に結果につき報告あつて滿場一致可決、四時休憩同十五分再開、委員會で可決した

一、防空法中改正法律案（政府提出）

を上程、委員長の報告あり可決して衆議院に送付、かくて先議法案六件全部を衆議院に送付して同四時三十七分三度休憩、午後八時十分再開

一、軍需會社法案（政府提出、衆議院送付）

を上程、東條兼攝商相より提案理由を説明ののち委員附託、次いで

一、臨召議員に關する法律案（政府提出、衆議院送付）
一、昭和十三年法律第八十四號中改正法律案（同上）

の二件を一括上程、安藤內相より提案理由の説明あつて委員附託とし同八時三十三分散會した

衆議院本會議

【東京電話】廿七日の衆議院本會議は午後一時五分開會、岡田議長より『本日宮中に參內、勅語奉答文を捧呈致しましたところ重ねて優渥なる勅語を賜りました』旨報告、總員起立裡に勅語を謹聽、同一時十七分一旦休憩、午後二時三十一分再開し衆議院先議法案たる

一、會計法戰時特例中改正法律案（政府提出）
一、帝國鐵道會計法中改正法律案（同上）
一、所得税法および地租法中改正法律案（同上）
一、國有財産法中改正法律案（同上）
一、國債關係事務簡捷化に關する法律案（同上）

の五件を一括緊急上程、豐田委員長より委員會の經過並に結果につき報告したるのち滿場一致これを可決、續いて貴族院より送付の

一、工業所有權戰時特例案（政府提出貴族院送付）

を緊急上程、井上技術院總裁より提案理由の説明あり、委員附託、引續き

一、兵役法中改正法律案（同上）

を緊急上程、富永陸軍次官より提案理由の説明あり、委員附託、かくて五時五十五分一旦休憩、午後七時七分再會

一、衆議院議員にして大東亞戰爭に際し召集中なるによりその職を失ひたるものゝ補缺及び復職などに關する法律案
一、大東亞戰爭に際し召集中のものゝ選擧及び被選擧權などに關する件

の二案を一括上程、津崎委員長より委員會の審議經過並に結果を報告、委員長報告通り滿場一致可決

一、軍需會社法案

を上程、加藤委員長報告通り滿場一致可決、續いて日程を變更して

一、昭和十八年度歳入歳出追加豫算案（第一號）
一、昭和十八年度特別會計歳入歳出豫算追加案（特第一號）
一、豫算外國庫の負擔となるべき契約をなすを要する件（追加第一號）

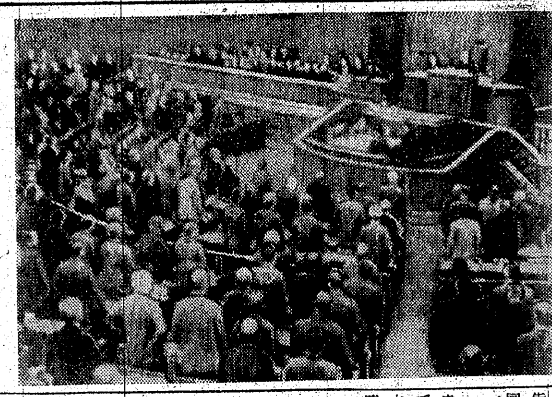
の三件を一括上程、小川委員長より委員會に於ける審議經過並に結果を報告、委員長報告通り滿場一致可決、つゞいて日程を變更し

一、裁判所構成法戰時特例中改正法律案（政府提出、貴族院送付）
一、戰時民事特別法中改正法律案（同上）
一、戰時刑事特別法中改正法律案（同上）

の三案を一括上程、岩村法相提案理由の説明あつてこれを[illegible]委員會に附託

一、防空法中改正法律案（政府提出、貴院送付）

安藤內相より提案理由の説明あつて委員附託、次いで牧野良三氏（岐阜）登壇して小山田義孝、四宮正吉、愛野時一郎、有馬英治、濱田尙友の五應召議員に對し衆議院を代表して『衆議院議員の應召は帝國議會開設以來のことで、帝國議會史を飾る一大事實である』と祝辭を述べ、次いで岡田議長の發起により廿五年勤續議員たる島田俊雄氏（島根）を表彰すべき旨を諮り表彰文案を岡田議長が朗讀、これを滿場一致可決、續いて島田氏登壇感謝の意を表し午後八時廿五分散會した



衆議院本會議　豫算案可決總員起立の刹那（電送）

大東亞民族總蹶起決議案
敵撃滅へ鐵の決意
最終日の衆議院、劃期的提案

【東京電話】第八十三臨時議會最終日廿八日の衆議院は政府提出全議案を議了、成立せしめたのち、大東亞各地域が續々獨立、宿敵米英打倒に邁進しつゝある現狀に鑑み大東亞民族總蹶起に關する大決議案を上程、金光庸夫氏が趣旨辯明に立ち政府を積極的に鞭撻すると同時に國民不退轉の決意を表明するが、わが衆議院が帝國以外の諸民族に對してかゝる積極的な意思表示を行ふことは實に未曾有のことに屬し、まさに議會史上劃期的な出來事といふべく、躍進帝國の現狀と戰爭完遂にかゝる日本國民必勝の信念を端的に象徴するものである

衆院豫算總會
教育非常措置

【東京電話】衆議院豫算總會は午後一時廿四分再開

安藤正純氏（東京） 教育に關する戰時非常措置は速かに具體策を議じ恒久策は戰爭完遂後講究すべきである、今次の措置は理工科系のみに認めてゐるので、法文系を輕視してゐるかの如く考へるものも多いが如何

東條首相 教育は國家興隆の基であるから今まで難きを忍んで今日に及んだが、戰局の展開に伴ひ作戰要員の必要が今次の措置を講じたのである、檢査に合格すれば文科系も理科系も共に召集され何れが重く何れが輕しといふが如きことは全くない

安藤氏 戰爭は科學戰であると同時に思想戰である、特に對內思想強化は法文系學問の國家確立によつて期待され、日本とゝもに優秀な指導者の養成が必要と思ふ

首相 法文科の教育學問は思想戰的精神力結集の見地より大東亞戰に必要なことは勿論である、今次の措置は兵員の急速な充足にあり、これが實行に當つては、從來法文科系學生にその數も多いのである、戰時下の文教精神は劍をもつて學を生かすことにある

安藤氏 學徒動員と學校の整理統合とは別問題だと思ふ、政府の今回の措置にはこの點につき一貫した統一性ありや、或は單に文科系學校の數の多きをもつて整理を行ふのか

岡部文相 動員と學校整理との關係は學生の徵集の結果、學生が減少するためである、理工科と法文科との間の計數的整備は確なるものではないが、從來法文系が多過ぎ理工系が少過ぎたことは事實と思ふ

軍需相の所管

中村三之丞氏（東部） 軍需大臣が臨軍費を所管することは官制によるのか

藏相 特定軍需品の調辨のみが官制による

中村氏 軍需大臣の所管する特定軍需品は軍需省の豫算は本省のみを一般會計に入れ、他は臨軍費に入れる考へは如何

藏相 當分は航空機である、軍需省の經費は現在の商工省の豫算が殆どそのまゝ使へるので相當部分が一般會計に入るのである

災害對策費

中村氏 災害對策費を提出せぬ理由如何

藏相 鳥取の震災、九州の水害に對しては被害程度深刻なるにかんがみ租税減免の措置を講じ、災害復舊費はすでに內務省農林省所管に於いて相當額を第二豫備金から支出した、その後の被害對策については豫備金が充分あるので本議會には追加豫算を提出しなかつたのである

中村氏 また災害の復興は金ばかりでなく物も必要である、物動計畫上災害用の物資を見込むべきだと思ふ

藏相 金、資材、勞力の必要はもちろんであるが、資材については物動上豫備資材の用意は相當ある

決戰租税政策強化
來議會に增税案提出
藏相示唆

中村氏 税收強化の方策として直接税增徵を主として不動産購買力の吸收を目標とする增税を行ふべきである、獨立した國民税を新設し或は綜合分類所得税の累進率を引上げ、現行最高の八十八の最高率を九十三乃至九十五にすべきであると思ふ

藏相 租税は數次の增税によつて國民の負擔も重くなつてゐるが、軍事費その他の關係から今後增税は必至であり來議會に提出する見込みである、これは直接税增徵を主とし間接税の增徵も行ふ、國民税及び高額所得者の累進税率引上げは目下考究中である、國民が廣く戰費を負擔することは原則だが、戰時なればこそ應能負擔もまた必要だといふ觀點から考究中である

賀屋藏相

豫算の機動性

中村氏 豫算制度の機動化及び彈力性に關する所見如何、豫備金の擴大追加豫算の增加、豫算外契約の增大、債務證書制度などの緊急施策が行はれてゐるが、これらの運用及び指導方針如何

藏相 豫算の機動性については追加豫算は出來るだけ出さず、なるべくすべてを總豫算に持つて行くことを尊重したいが、戰時の今日にあつては一年半位先の昭和二十年の經費の確たる計算は出來ない、從つて最大限を計上せねばならぬので、むしろ昨今では明瞭に算出し得る經費のみを計上して置く方がよいのである、豫算編成に當りあまり先の事を考へると現在ではむしろ機動性を失ふのである、從つて豫備金は近來增加の傾向にあるが、これは將來も斯くあるべきで、豫算外契約の方法も將來つゞいて行くものと思ふ

中村氏 現在十五億八千萬圓の豫備金は將來二倍ないし三倍にはなると思ふが、その支出に關しては貴衆兩院に豫備金支出審查會の如きものを設けては如何、また豫備金の事後承諾は通常議會のみでなく臨時議會に於いてもなし得ることにすべきだと思ふ

藏相 豫備金支出事後承諾については將來考究する、豫備金支出事後承諾案の提出は臨時議會は短期であるし、官廳事務の關係からも只今は改める意思はない

民防空の問題

堀內一雄氏（山梨） 防空の隘路は資材、特に木材の確保に歸着する、過般の改正に於いて木材會社以外に從來の民間業者をある程度認めたがその意圖はどこにあるか

山崎農相 木材の供給に一時的にも支障があつてはならないと考へなるべく現實の事態に即して措置を講じたものである、現在の府縣木材會社を地方木材會社に引直すことゝした際森林業者も參加し得る仕組としたのが今回の木材統制機構改正の要點である

堀內氏 防空の實施は官民一致してはじめて効果がある、從來の防空豫算は極めて少額で資材の確保が困難である

安藤內相 第八十一議會後防空豫算としては去る十月五日四千三十九萬餘圓を計上、醫療機關の設置、防空監視隊整備費などに充當したが、今回更に五十三萬餘圓を計上した

統制會社問題

田中貢氏（廣島） 統制會社の運用にも遺憾の點が多く統制そのものに及ぼしてゐる現狀である、この際統制會社を整理し改善を行ふべきだと思ふ

山崎農相 農村關係統制會社の整理は目下調査中で、統制會社五十、組合百六のうち會社については法令により仕事を引繼ぐか合併するのが適當のものもあるので相當整理する、組合についても同樣で今後不要のものは四十だがこれは十五、六にする積りである、必要のなくなつた統制機關は速かに廢止する

農産物の價格

田中氏 農産物の價格については主要作物の價格との釣合のとれぬ觀がある、米についてはやゝ改善されたが、その他のものは價格を合はせてゐない、價格政策と增産とを併行させて貰ひたい

山崎農相 價格問題は實に困難な問題であるが、農産物相互間の均衡を得ることは必要で、これについては先般行つた價格改訂により麥價も近く改訂する、高級品を引下げ、麵などは六、七割引上げた、ここの問題は甚しく困難なことであるが、今後とも充分考へてやつて行く

次いで小川委員長より委員會を代表して總括的質問を行ひ、東條首相との間に別項の如き應答があり、午後五時休憩、同七時十分再開小高長三郎氏（滋賀）が委員會を代表して豫算案に對し贊成演説を行ひ裁決の結果、滿場一致をもつて政府原案通り可決、同十時二分散會した

大東亞建設の本義
見よ儼然たる新事態
首相強調

【東京電話】東條首相は議會劈頭の施政方針演説に於いてわが盟國の大理想は大東亞共榮圈に於いて步一歩實現し、大東亞共榮圈の堅實なる基礎は着々と確立しつゝある旨を述べ、大東亞十億民族に絶大の希望と確信を與へたが、廿七日の衆議院豫算總會に於いて中島彌團次氏（東京）より大東亞建設の方針（一）人種的差別の撤廢（二）民族の平等互惠（三）互惠主義による經濟提携（四）文化の交流（五）資源の開放（六）大東亞共同防衛の六項目が提示強調されたのに對し、東條首相はその趣旨に贊意を表し、帝國の大東亞諸國家諸民族に對する施策は八紘爲宇の肇國の大精神の顯現であり、この肇國の大精神は事實をもつて大東亞全土を光被し、その結果大東亞の各國家、各民族の絶對信頼を確保し、その精神的協力のもとに現實の大東亞結集態が完成した事實を明かにし、この儼然たる新事態は米英といへども否定し得ないと強調、次の如く答辯した

首相答辯要旨（速記） 中島氏の意見には傾聽し、大體の趣旨は同感である、帝國の大東亞諸國家、諸民族に對する施策は八紘爲宇の精神を事實をもつて敢行してをり、ここに大東亞圈內の各國家、各民族が帝國に絶對の信頼感を有するに至つてゐる、この點中島氏のいはれる大東亞諸國家諸民族の精神的結束のもとで八紘爲宇の精神を顯現してゐる事實は敵米英としてもこれを否定し得ない、帝國の眞意は八紘爲宇の大精神を大東亞の天地に具現するにあることを重ねて明言する

速かに具體化へ
內外地食糧行政の一元化
首相の言明に期待

【東京電話】廿七日の衆議院豫算總會は食事のため休憩したのみで一瀉千里、而も極めて重點的に熱心な論議が展開され、夕刻に至り小川委員長は最後に食糧問題に關する總括的質問を示し、內外地の食糧行政の綜合統一、日滿を通ずる食糧增産計畫、更に肥料增産の三點につき政府の所信を質したのに對し、東條首相よりそれぐ\明確な答辯があり、特に第一項の內外地を通ずる食糧行政の綜合統一についての質疑應答は次の通りで、今後內外地の食糧行政の綜合統一は急速に何らかの形で具體的に實施せられるものとして期待される

小川委員長 內外地の食糧行政の綜合統一はこの際食糧確保の見地から重要懸案と考へるが政府の意見如何

東條首相 內外地行政の綜合統一については政府は御説の趣旨により努めて內外地を通じ食糧の生産にも、供出にも實効を擧げることを期したいと考へてゐる

けふの兩院 28日

貴族院【本會議】午後二時開會、會計法戰時特例中改正法律案ほか四件に關する委員長報告あつて可決成立せしめ一旦休憩、次いで特別委員會を開き軍需會社法關係二件及び應召議員法關係三件の委員會可決をまつて逐次本會議を開會、可決成立せしめる【委員會】午前十時より豫算委員會並に軍需會社法委員會、應召議員法委員會の兩委員會をそれぞれ開會

衆議院【本會議】午後一時開會、兵役法改正案を緊急上程、次いで滿洲國食糧增産に對する帝國政府の協力援助に關する建議案を上程、由谷委員長の報告あつて採擇、引續き[illegible]剛氏の逝去に對する弔辭を呈することゝし、勝正憲氏登壇、追悼演説を行つて一旦休憩、防空法、裁判所構成法などの委員會決定次第再開して緊急上程可決成立せしめ最後に大東亞民族總蹶起に關する決議案を上程、金光庸夫氏趣旨辯明をなして可決する【委員會】午前九時より防空法、兵役法、工業所有權法各委員會を開く

小磯總督 三千浦港等視察

【馬山にて坂本特派員發】慶南視察中の小磯總督は廿七日午前十時半三千浦に到着、直ちに三千浦神社に參拜境內の一隅で大和田釜山地方鐵道局長、待山釜山土木出張所長、山下邑長等より三千浦港擴張建設狀況を聽取、それより土木出張所專用發動船で三千浦港建設狀況を視察、船中で晝食をしたため午後十一時五十分三千浦發、途中井村面護下部落を視察、鳥山部落聯盟理事長を激勵、次いで目下建設中の寺峰谷水池をみ同四時廿分咸安郡中村鐵山及び齊藤鐵山を視察、增産戰士を慰問激勵のち同五時五十二分郡北驛より乘車した

消息

◇山田新十郎氏（鐵道局長）東上中の處廿八日歸城

敵十六機を撃墜破
海鷲、ラバウルに邀撃

【南太平洋〇〇基地廿七日同盟】ニューブリテン島ラバウルに對する敵機の來襲は漸次熾烈化の一途を辿りつゝあるが、またも廿五日午前二回にわたりP38、B24、PB2Yなど戰爆連合延百十六機の大編隊をもつて來襲し來つたのでわが帝國海軍航空部隊はこれを同地上空に邀撃、激烈な空中戰を交へP38二機を撃墜、B24十四機を撃破、他を撃退せしめた、わが方未歸還二機、地上損失七機を出した

ポートブレアにも敵機

【ペナン廿七日同盟】廿四日午後アンダマン列島ポートブレアのわが陣地に敵大型爆撃機一機が來襲して來たが、我軍戰鬪機隊は直ちに舞ひ上つたので敵は逸早く遁走した

八機を撃墜破（關貫）

【ビルマ前線基地廿六日同盟】廿六日午後一時ごろラングーンに敵機來襲の報に接したわが陸軍新鋭戰鬪機部隊は直ちに出動してラングーン上空にコンソリB24廿五機を捕捉撃墜し、その三機を撃破、他の五機に必殺彈を浴びせ歸還不能と思はしむる損傷を與へて逃走せしめた、右撃墜機中一機は初陣の谷口伍長（少年飛行兵出身）の體當りによるものであるが、谷口伍長は落下傘降下により無事生還した、また他の撃墜（不確實）一機は伊藤少尉の體當りによるもので少尉は〇〇飛行場に不時着してこれも無事であつた

重爆二機撃墜

【南西太平洋〇〇基地二十七日同盟】セレベス島ポマラ方面に廿六日午前B24四機が來襲、帝國海軍戰鬪機部隊はこれと交戰、うち二機を撃墜、他を撃退した

社説
戰時措置の教育と志望

一

政府はさきに現時局に對處する國內態勢強化方策の一環として、學校教育に關する非常措置方策を發表し、更に廿五日『國民教育に關する戰時非常措置』について、その內容を公示し、大學、專門學校の戰鬪的態勢の確立に加へて、中、初等學校に於ける教育體制に對し一大刷新を斷行し、いよく\戰力の增强に渾々潑剌たる教育戰陣の動員を要請したが、このことは正に日本教育にとつて歷史的劃期的英斷といふべきである。

二

この歷史的劃期的英斷は、教育審議會に則り、決戰下現段階の時局的緊急なる事態に對應すべき行政第一主義の徹底を希求する必然的施策にして、その教育內容の徹底的一新と能率化を圖り以つて教育の國防性、勤勞性を徹底的に伸展し、その戰力性の發揮を遺憾なからしめんとするものである。東條首相は廿六日の第八十三回帝國議會に於いて『戰爭完遂の一翼として機敏潑剌たる對外施策を行ふと共に、これらに即應し國內諸般の態勢を劃期的に強化せんとするため』と明言せるが如く、偏に戰爭遂行の劃期的強化を圖らんとするにある。從つて教育機構の戰鬪的改革にその內容の國防的刷新を見るに、これを中等教育においては工業學校の最大限擴充を第一主眼としてゐる。

このことたるや全く戰鬪力の基底的條件の二大要素の一たる生産科學、卽ち軍需生産の強大切要なるものあるを示したるにある。ここにおいて身近なるわが半島に於る工業學校の現在數を調査するに全鮮僅かに公私立合して十一校に過ぎないといふ。

三

惟ふに半島が誇る處のものは勿論半島同胞の皇國臣民化の目覺しさであらう、而して地下資源の無盡藏と、動力としての電源の強大と、生産從事員としての人的資源の豐富であらう。かくて半島こそ兵站基地であるとして自負することと高く、また大東亞戰下其肩に負荷さるゝ處いよく\重且つ大なるものがあるのである。然るにかゝる地域に於いて、工業學校が全鮮僅かに公私立合して十一校といふに至つては、そのことの如何に貧困であるかを、今更に痛感せしめられるのである。試みに商業學校數に農業學校の數を拾へば、その前者が廿一校、後者が六校といふ。農業半島でなくして築より將たまた工業より格段とその設置數多きは、今次政府が指示する戰時非常措置の實施がわが兵站基地たる半島にも實施せらるゝものと考へるべきである。

四

我々は、過去において何故に工業、鑛業の教育機關に超えて現下女子教育の部門に移管させられんとする男子商業學校がかくも多數に存在してゐたかを、その志願者並に父兄と共に反省しなくてはならない。靜かに勘へば、そこには遊惰たる拜服を着て指をよごさない職業につきたいといふ、油と血と汗とにまみれる勞働的職業をいとうた處の逃避心が內在してゐたのではあるまいか。緊迫を告げる決戰の現段階では、畏くも高貴な御方も第一線に立たせ給ひ、最高學府の教授も、國家の一人息子も又四十五歳[illegible]とする二十年兵までが一兵として土にまみれ血にまみれ、湖濱瘴雨の中に力鬪死鬪を繰返へしてゐるのである。かかる秋に、身が職務に在りとして指の汚れをいとひ、汗するを避ける都會的志願はこの際斷乎中絶して、只管鑛山に、農村に、工場に、林野に一意戰力の增强に嚙み付いて、身を鍛へ心を固め、一朝お召しをいたゞきたるときは、その生齒の一線に出で起つの用意を充分に持すべきである。我等は茲に悠久なる皇國の發展を考へつゝ當面の戰爭遂行力の增强に力を效すことの一事に集中する戰爭の新生と、志願者並に父兄の奮起を切望して已まないのである。

ビクター 愛好家協會 特選集 第2輯
（ショパン）圓舞曲・夜想曲 コルトー
（ヘンデル）アリオーソ
（ヴィニアフスキー）古謠曲 メニューイン
（バッハ）樂園西組曲 カサルス
（ブルッフ）コル・ニドライ
限定豫約中 十二吋赤六枚組・解説書附 二十二圓四六錢
配布十一月廿日（申込順）
詳細最寄蓄音器店へ！
日本音響株式會社

文藝讀物 十一月號
◎前線慰安奉仕特大號
十一月特大號は前線將士慰問號として特輯されてゐます。熾烈なる戰ひに、儼然たる兵隊さんを慰安しかり奮鬪されてゐる兵隊さんの喜ばれるやう全力をあげてあげるのは銃後國民の義務であります。編輯者も感謝の誠をもつて兵隊さんの喜ばれるやう全力をあげて傑作讀物を集めました。皆さんもぜ非讀つて下さい。一冊は前線へ送つてあげて下さい。兵隊さんはどんなに喜ばれるでせう。協力をお願ひいたします。
オール讀物 改題
基地の花 丹羽文雄
次郎長開墾 本英林
廣東華僑 大林清
姬島記 原田耕
クエンコ大尉 石坂洋次郎
牙と威嚴 早野登至
槍の折れ 胡桃村
興安嶺 武藤雄
★おなじみの名士、作家の郷土だより、女流隨筆、特別讀物等豐富な內容です。
廿九日發賣 特價四十五錢
文藝春秋社 東京都麴町區內幸町 振替東京一七六〇三

田浦安次郎著 實踐記錄 學校經營と教壇 B6判大三〇〇頁上製 價三・八〇 送廿四
兒童向 稻と米の話 原島亦彦著 價一・七二 送二〇
紙は生きてゐる 山田七五三著 價一・七二 送二〇
一杉書店 東京・神田・神保町二ノ三六 振替東京一〇七四一二

河出書房 東京日本橋通一丁目 振替東京二〇八〇一
日本戰爭經濟の課題 東朝經濟部 土屋清著 價四・三〇 送二三
封建社會 東北帝大教授 中村吉治著 價三・一〇 送二〇
法律思想史 船田享二著 價三・二〇 B6判四〇〇頁 下旬發賣
合成篇I 化學實驗學 坪井忠二著 價九・四八
振動論 價七・二〇
最小自乘法・積分法・數値計算法 價七・二三
豫防醫學ノート 高野六郎著 價二・五八
人生と榮養 佐木隆介著 約二・〇〇
植物ホルモン

文明社 東京小石川 振替東京一〇七一六
防空戰と兵器の作り方 森本二泉著 A5判 價一・八〇
自然科學をめぐる 理學士 栗山伸三郎著 B六判 價二・一〇
詩的體驗 大島博光譯 B六判 價二・七五
隨筆集 夾竹桃 石原純著 B六判 價二・三八
美しき倫理 長田恒雄著 B六判 價一・八〇

聖紀書房 東京神田 振替東京一二五八八
石器時代の世界史 O・メンギーン著 岡正雄譯 A5判 價七・八〇
世界の原始民族（下卷） J・マードック著 土屋光司譯 A5判 價三・六〇
東南アジアの民族と文化 H・ゲルデルン著 小堀甚二譯 A5判 價六・七〇
東洋の道と美 長與善郎著 A5判 價四・八〇

船だ、補給戰に勝て

昨夜七時半、富永海軍少佐放送

富永海軍少佐

【東京電話】大本營海軍報道部富永少佐は二十七日午後七時半より約二十分間中央放送局から『トン數の戰ひ』と題し放送したが特に近代戰の勝敗をなすものは造船による船腹問題の解決にある所を強調した、放送要旨次の如し

本年初頭のわがガ島よりの轉進以來ソロモン方面におけるわが基地に對する敵機の來襲は逐次増加しつゝあるが、七月に入ると飛躍的に増加し、同月中の來襲敵機の延機數は四月に比し既に三割の四千四百機にのぼり、しかも一度に二百機に近い敵編隊が鷲鷹の如く殺到するといふ有樣となつた、最近ではラバウルに對する大擧空襲を繰返して來てゐるのである、現下のソロモン戰局が、まさに飛行機の決戰でありその勝敗は全く彼我航空兵力の如何にかかつてゐることは明かであるが、さらにこの航空決戰の特質を掘り下げて見ればそれは航空決戰であると同時に

補給攻防戰 であるといふ事實を見逃してはならない

すなはちわが海軍航空部隊は八月三十一日、九月以降最近までに三十九隻の敵輸送船を初め海上トラックその他の輸送用舟艇多數を撃沈破する戰果を收めてゐるのは同戰鬪が敵の補給路遮斷を中心として展開されてゐることを示めすものである、敵はソロモン、ニユーギニヤ方面に上陸せしめたその前線部隊に對する補給の維持強化に全力を擧げこれに對してその企圖を破碎する猛攻を浴せつゝあるのがわが陸海軍航空部隊であり潜水艦である、わが方も不撓不屈な敵航空兵力の跳梁下に死力を盡して補給輸送を實施しつゝあるのであつて、我方が驅逐艦或は潜水艦をもつてその本來の任務に非ざる輸送に當らしめてゐる事實は如何にこの補給輸送が重要な問題であるかを充分に物語つてゐる、斯の如くソロモン方面における戰鬪が補給遮斷を當面の目標とするに至つた事實は大東亞戰爭が彼我

前進基地の 攻防を繞つて新なる攻勢に轉じてゐることを示唆すると言へる、そもく戰鬪にあつては勝敗はまづ敵兵力を撃破して爾後その據點を奪取して戰略上優勢を整へることが第一である次にその有利な態勢下に占領した基地へ後方から兵力その他戰略物資を補給強化推進しつゝ殲滅の決戰を求めると言ふのである

このために制空制海權の確保と海運力の必要なことは勿論である、この觀點からソロモン方面の戰局を檢討する

敵は開戰以來 相踵いで喪失した據點基地の奪回に必死の努力を拂ひ、莫大な犧牲を拂つて漸く得た前進基地の補給強化による制空權、ついで制海權を確保しつゝその發揮する威力化に逐次基地を推進する

所謂飛石作戰によつてわが方の既に示してゐた有利な戰略態勢に楔を打込まうとしてゐるのである、勿論ソロモンにおける補給攻防戰は戰場のみを中心とした極めて狹義のものを意味するのであるがこれは即ち大東亞戰局そのもの、現段階における性格とも言ひ得るのであつてこれをさらにわが南方資源地帶、本土の生産地帶さらに前線をも含めた大きな場面に擴大して考察する必要がある、近代海戰における補給攻防戰とは最早往時の單なる通商破壞戰の如き比較的大規模な戰爭遂行力の持續とこれが破壞方法と言ふことから一歩進んで戰鬪行爲そのものによる反撃地點とこれが強化擴充への最も有効適切なる手段となつてゐるのである

それは唯一回の決戰を別個に切離して考へることを許されぬ、近代戰における連續した挑戰とさへ考へられるのである、さればといつて補助作戰が主作戰、敵海上兵力撃滅による制海權獲得に代り得る譯はないのであるが

兩軍が洋心 において決戰圏をもつて邂逅せぬ限り決戰前面は廣大な海域の任意の地點ではなく必らずや彼我の所要する海面となる傾向にある、所望海面こそは基地航空機の威力圏内に選定されようとするに相違ない、海戰が基地爭奪戰の形式の觀を呈するのはこのためであり更にその基地維持強化を繞る攻防戰が登場して來るのは必然の勢ひである

その場合航空兵力の壓倒的優勢が先決問題であるが同時にその壓倒的優勢の背後の支柱であり最大の支援力たる海運力の決定性がますく重要となりつゝあることは敢へて贅言を要しないのである

斯の如き意義をもつ補給攻防戰においてわが方の確保すべき海上交通線を考へるとそれは實にわが本土と南方資源地帶の一往復、さらに前線に至る實に長大なるものである事實を無視し得ない、すなはち南方諸地帶はすでにわが掌中にあるがこれにはわが本土から開發のため資材と人をまづ送らねばならぬ、しかもそれによつて開發した戰略資材は再び本土の生産部門に送られ、しかるのち漸く前線に補給されることになる、その間において三度敵の企圖とする海上交通線遮斷の危險を突破しなければならぬことを意味する、從つて日本の示してゐる不敗の態勢と言ふのは實にこの長大なる海上交通線の安全確保を前提として初めて成立するのである

時がわが味方であるといふためにはその先に海上交通線の確保がなければならぬのである

しかしながらこの海上交通線の安全に缺くべからざる制空權、制海權ともに近代戰の性質上或る意味では頗る不安定といへる

すなはち制空權は敵の航空兵力を全く壓倒撃滅、再起不能に陷らしめざる限り、また制海權は

敵潜水艦の 蠢動の餘地を封ぜざる限りそれらのゲリラ戰による攪亂は絶對に防止し得ぬからである、從つて一旦敵に對し戰局上優勢なる地位を占めた場合には引續き制空制海權を活用して海上補給力を強化する必要を生ずる、補給力の不斷の強化擴充によつてのみ航空戰力を増強しますます制空權の偉力を發揮し得るのである

敵はゲリラ戰の展開によつてわが戰力を消耗せしめんとしてゐる、造船による船腹問題の解決に國民が總力を結集するとともに一方組織的な潜水艦對策の確立、すなはち護衛艦艇の増強とこゝでも飛行機の増加が肝要である、あらゆる戰力増強の前提條件は海運力を強化することであり、今日もつとも必要なものは船である

企業整備委員 可決 原案(續二)

財政金融措置要綱

第一、方針

企業整備に伴ふ財政金融上の措置に關しては

(一)必要なる資金の供給は迅速圓滑ならしむること

(二)右に伴ひて放出せらるゝ資金が浮動購買力と化することを防止すること

(三)債權債務の整理を圓滑に推進せしむること

(四)國家經濟の秩序を維持すること

(五)必要に應じ國家に於て財政上の措置を講ずることを目途として各般の方策を講ず

第二、要綱

一、必要なる金融資金の供給

(一)一般金融機關が廢休止企業に對し更に又金融的に貸出の抑制(條件及び擔保の嚴格化等を含む)を爲し或は既存貸付金に付其の回收を急ぐが如きことなきやう指導す

(二)金融機關をして企業整備の圓滑なる遂行に積極的に協力せしめ廢休止企業(之と債權債務關係ある企業を含む)に對し整理所要資金(既存債務の整理、設備の保全、配當の維持、從業員の整理、金利其の他一般經費等の爲の所要資金)を供給せしむ

(三)取引金融機關に於て貸付の繼續又は新規貸付の困難なるものに付ては戰時金融金庫其の他の國家的機關をして保證若は肩代り又は融資をなさしむ

(四)前各號の實施に付ては金融統制團體等をして指導斡旋を爲さしむ、此の場合には各產業統制團體等と緊密なる連絡を保持せしむ

(五)朝鮮產業物資營團其の他廢止企業の設備等を買取り又は其の處分を引受くる機關の所要資金の調達に付き必要なる措置を講ず

二、浮動資金の發生防止對策

(一)廢休止企業の設備其の他の資產の買取代金等の支拂は原則として同法の特殊決濟に依らしむ但し緊急止むを得ざる生活費、納税、賠償の履行其の他已むを得ざる事由に依り現金を必要とする場合に付ては特殊決濟に依る資金の封鎖を免除又は解除す

(二)企業整備資金措置法の特殊決濟に依らざるものに付ても業主の生活費其の他已むを得ざる事由に依り現金を必要とする場合の外は總て國債の購入其の他成るべく長期的の貯蓄に向けしむるやう措置す

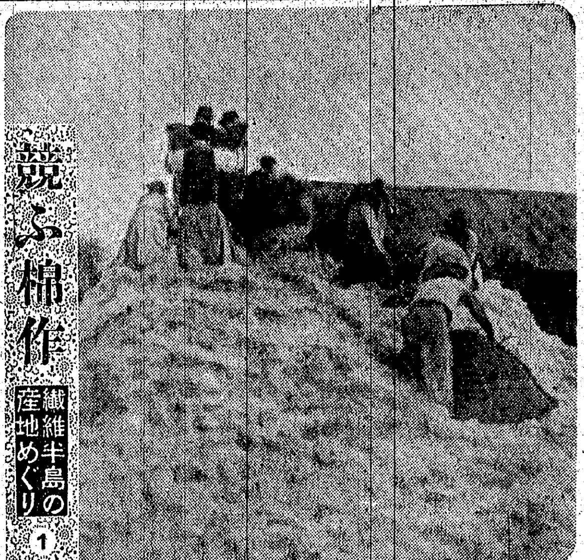
(三)政府又は朝鮮重要物資營團等に於て設備等の買上代金の決濟を行ふ場合は交付公債等の貯蓄化の趣旨を個別的に特に徹底せしむること

(2)轉業補償共助金(營業上生活援護共助金に相當する部分を除く)に對しては共助主體を通じて一部國債交付を行はしむること

(3)會社合併交付金及び退職給與金の支給に付ては臨時資金調整法其の他の法令に基き合併の認可許可等を爲す場合及び會社解散其の他の法令に基き退職給與の支給許可等を爲す場合に於て一部國債交付を行はしむること

(三)民間企業相互間に於ける事業設備其の他の轉用等に當りては可及的に代金支拂等を要せざるが如き債權債務併又は現物出資方法に依らしむ(續く)

競ふ棉作 纖維半島の產地めぐり(1)



京畿道

全鮮一位が目標 指導に晝食はぬ係員

米棉、印棉への依存を斷つて纖維半島に南鮮北羊の聲が高らかに叫ばれてから十年、今や棉は、南と北とに判然されて二道を剩す十一道には、棉都と棉花の香が農村の富を増してゐる、とりわけ大東亞戰下における棉の需用は軍民共に明日を待たず、熾烈なる決戰段階に進むにつれて食糧と共に纖維の増産は必須の條件となつた、今や半島は擧げて棉の増産に努めてゐる、その共販も日を逐ふて白玉の山を築いた、農村から前線へ、こゝにも農民と銃後の連繫は纖維の力と共に固く結ばれたのだ、一匁でも多く、一キロでも餘計に、かくて農村朝鮮に課された責務は又た大きい

【安田(瑛)特派員記】昭和八年試作に成功して以來、京畿道の棉作は次第に在來棉の域を脫して最初の中は農民が當局の指導に馬耳東風であつたが、撓まぬ指導者の愛と熱が見事に實効、年を逐ふて作付面積が擴大し、反當收量も増して昨今では道内總作付面積三萬五千餘町步、供出目標額二千五百萬斤を確保、京畿道の棉作陣に凱歌が揚つた

本道が他道に較べて事情を異にするのは京城、仁川などの大消費地を擁し、これらに供給する食糧の確保が何よりも肝要であるので無闇に耕作面積を擴張する譯にはいかず最少の面積から最大の收量を上げようとする關係上、當局の心勞は並大抵でなかつた、棉作は排水さへ良ければやせた土地でもよく育つ、そこで道當局では一般作物に影響のないやうにと丘陵や傾斜地帶の畑地を開墾して面積の獲得に努めて來た

その甲斐あつて本年は總收穫においても在來棉以來の最高記錄を樹立した、記者はこれらの第一線指導に携はる郡技術者の苦勞と農民の敢闘ぶりを見るため、大石道技手の案内で先づ楊州郡に入つた

獻納棉に張切る翼賛栽培 楊州郡

けふも棉の供出部隊が道路狹しと列をつくつて共販場へ急ぐ……二里も三里もある山道を白雲に白い棉をのせて歩いてゐるかと思ふと、禿頭爺さんがチゲに山と背負つて足を早めてゐる、向ひ側の大通では牛車に棉を積んで共販場へ…本郡の作付面積は一千九百町歩供出割當額百廿萬斤であるが、松原郡守の陣頭指揮、田中勸業課長、東島主任技手以下各技術員の涙ぐましい奮闘の下に實を結んで廿日現在で割當額を突破し月末までには百五十萬斤達成の目標がついた

各共販場共豫想外の盛況で、限られた技術人員では等級査定、計量等、係員は朝五時から夜の九時まで息つく暇なく棉にまみれて頑張つてゐる

本郡が他郡に誇るべきものは『翼賛棉花』である、これは昨年から東島技手の發案で農家、非農家の別はず、各自の分に應じて獻納用の棉花を栽培させたところ、われもくと獻納者が殺到、昨年はその賠償代金一萬餘圓に上り、これを軍當局へ獻金した

今年もこれを勸めたところ非常の郡民も進んでこれに協力、一坪國獻も總く翼賛棉花戰線に振り向けた、本年こそ相當量の獻納を見る譯である

官民三位一體の指導奬勵 水原郡

水原郡の棉作を見ずして京畿道の棉花を語る勿れといふ、昨年度の實績を見ても作付面積三千町步に對して三百五萬五千三百廿斤の供出振りを見せた、天候の不順な條件の下によくこの輝かしい記錄を殘したのだ

本郡の棉作は三千六百町步で農家戶數二萬四千三百廿八戶中棉作戶數は二萬一千三百廿八戶となつてゐる、棉作奬勵の秘訣は各官公署が表裏一體となつて挺身するところにある

藤原郡守以下關口內務、檜垣勸業兩課長の陣頭指揮はいふまでもなく金田、松原、香月の三技手はそれこそ寢食を忘れて棉花の播種から肥培管理、供出と三月下旬から今まで席の溫まる暇もなく各部落を驅け廻つてゐる

こゝに特筆すべきは郡内各面の長の努力である、自ら陣頭に立ち金谷面務主任以下、職員、駐在所員悉くを動員、毎月の常會席上は勿論、機會ある毎に部落單位で夜間講話を開き、愛と熱を以て農民の棉花栽培に對する理解を深めて來た

南北棉朝鮮工場長河崎氏も機會ある毎に部落指導に出かけるなど官民三位一體となつて棉花増産に邁進を續けてゐるのだ

今年度の目標は三百卅萬斤、十八日までの供出量は百六十萬斤であるが、天候その他の關係で作柄は平年作に過ぎないが、指導係員の手も早く運ばれる譯で

今一つ特筆すべきは農民の訓練が行屆いてゐることである、どこの共販場でも喧ましいのが通例だが本郡内はどの共販場へ行つて見てもそれがない、整然と列をつくつて自分の順を待つてゐる、そのため係員の手も早く運ばれる譯で、多數に供出される日でも午後五時頃には支障なく閉場に終る、他郡に較べて早く片附くのでその理由を質せば金田主任技手は

疲れた農民を遲く歸すのは氣の毒なので係員が晝食拔きで馬力をかけるばかりでなく、農民がよく規律を守つてくれる

と說明してくれた

荒地に集團栽培で成功 蓮川郡

道の最北端に位する蓮川郡は北鮮的氣候を帶びてゐるので昭和八年までは陸地棉は育ち見ることが出來ず、技術員の一部までが奬勵から除外しようとした程氣候に惠まれてゐなかつた

棉花の割當十六萬斤はすでに突破、現在廿萬斤台に向つて邁進してゐる、自然的條件に惠まれぬ本郡が、十一月中旬迄には目標を悠々突破するだらうといふ

かくて面には小泉郡守、松岡勸業課長を初め德川主任技手以下各係員の勞苦を忘れてはならぬ

當局が本郡に試作開始の昭和九年の作付面積は僅かに五十町步に過ぎず、當時の初代棉作主任技手吉永氏は農民と寢食を共にし乍ら夜を晝に繼いで農民の理解を求めた

かゝる當局の熱ある指導が漸次實を結び農民の理解も深くなり、棉作の多收入であることも次第に判つてこれに協力するやうになつた

本郡は他郡と異つて新開墾地が多い上に人口密度が稀いので勞力の活用に相當頭を惱ました擧句、遂に集團栽培によつてこれを解決することに決し、一ケ部落八十町步位づつの集團作圃をつくつたが、そのため過去十年間に素晴しい發展を遂げ、昨年度の如きは百九十萬斤を見事に供出した

本年の作付總面積は二千町步、供出責任數量二百萬斤であるが本年の天候は南部とは反對に非常に惠まれ棉花栽培以來初めての豐作である

郡內十二ケ面のうち、目立つて光るのは金谷面である、當面は勞力不足を『早起き』に依つて解決した、毎朝四時になれば面長自ら面職員と共に各部落を巡り各戶に鉦を一名を通して若き男女を叩き起こして畑に出して働かせる、この時間を利用して除草、摘心、摘葉といふやうにそれも個人主體の基本主義なので遲れがちだつた作業を無理なく進めることが出來る、『棉畑に草一本も生やさなかつた』所は道內で金谷面しかなかつたらう

製糸家の重點指導

蠶繭増產へ飼育技術向上急務

相繼ぐ不作に朝鮮蠶絲業の根本的對策の樹立が要請され、既報の如く蠶絲統制では各道地につき原因究明に乘出し、その結果を總督府に報告、對策樹立の資とすることとなつたが、問題は飼育技術の低度にあることを指摘されてゐる

即ち蠶繭、天候の影響は勿論重大ではあるが飼育技術によつてこれは相當に補ひ得るもので水原の某內地人篤農家の如き不作つゞきといはれる十五年以降三ケ年において春秋を通じ反當廿三貫の收繭量を上げ、價格引上げ前にも拘らず反當百六十七圓の收益を得てをり、他の畑作に比しても絕對有利な採算にあることを實證してゐる

しかも全鮮平均の反當收繭量が六貫程度であることは一般農家の飼育と共に飼育技術の低劣なためであり、これが徹底指導を必要とするがそれには官當局の單一的指導に俟つよりも製糸家による重點指導が迅速かつ效果的であり、その前提として蠶種配給區域の確立が急務である

滿洲第二期入植計畫

朝鮮農村再編成に呼應

【新京特電】大東亞戰爭勃發以來滿洲國は盟邦日本の聖戰完勝のため全面的協力をつゞけつゝあるが今次日本の國政運營要綱に即應する滿洲國の戰力增强要綱はさきに武部總務長官が擕へて東上し東條首相をはじめ日本政府關係要路と隔意なき懇談をとげ、日本の全幅の贊意を得て歸滿、直ちに實行に移すこととなつた

この戰力增强の中、最も重要とされてゐる食糧增產に關する開拓造成案は約廿六萬ヘクタールの水田耕作をなさんとするものであるが、これが耕作には日本內地の食糧營團をそつくりそのまゝ移住することに農林大臣も贊意を表して居り斷定方法としては朝鮮滿洲の農民を活用するはずである

米穀增產に關する朝鮮農民の第二期入植計畫は朝鮮の農村再編成に呼應し、分村計畫によるものでその戶數は集合開拓民二萬一千五百戶、分散開拓民二萬七千五百戶とし五ケ年計畫のもとに實現を圖らんとするものであつて特に農民の安定定着のため教育、保健、衞生など福祉施設に適切なる考慮が拂はれてゐる

京城は六圓卅錢

府邑別の白米新價格

總督府は玄米石當り三圓値上げに續いて廿六日更に白米價格を改正、翌廿七日實施したが、京城はじめ全鮮各主要府邑の叺當食糧營團の最高販賣價格ならびに小賣最高販賣價格は次の通り(食糧營團は叺當、小賣は十五キロ當)

一、主要地

場所	糯粳米 食糧營團	小賣價格
京城府	一四、六〇	六、三〇
平壤府、鎮南浦府	一四、五五	六、二五
仁川府、群山府、木浦府、釜山府、海州府、長項邑、麗水邑、三千浦邑、馬山府	一四、三五	六、二〇
元山府、咸興府、興南邑	一五、〇〇	六、三五
淸津府、城津府	三五、四〇	六、四二

二、他の府邑面

場所	糯粳米 食糧營團	小賣價格
京畿道、忠淸北道、忠淸南道、全羅北道、全羅南道(麗津邑、長興邑及濟州邑を含む)、慶尙北道(甘浦邑及九龍浦邑を含む)、慶尙南道(統營邑、西城邑、河東邑、方魚津邑及長承浦邑を含む)黃海道	一四、一五	六、一五
平安南道、平安北道	一四、四〇	六、二〇
江原道(江陵邑、三陟邑、注文津邑及墨湖邑を含む)	一四、八五	六、三五
咸鏡南道	一五、二〇	六、四〇
咸鏡北道(舞大津邑を含む)	一五、六〇	六、五〇

備考

(一)本表に掲ぐる最高販賣價格は朝鮮穀物檢査令に依る一等品の最高販賣價格とし二等品及不合格品の最高販賣價格は本表に掲ぐる最高販賣價格より左の金額を控除したる額とす

等級	食糧營團	小賣價格
二等品	〇、二〇	〇、〇五
不合格品	〇、四〇	〇、一〇

(二)本表に掲ぐる朝鮮食糧營團の最高販賣價格(一叺當)は正味百斤入叺の倉庫又は之に準ずる場所渡の最高販賣價格とす

(三)本表に掲ぐる小賣最高販賣價格は包裝費を含まざるものとし小賣業者の店先渡の最高販賣價格とす消費者の店先渡の小賣最高販賣價格は本表に掲ぐる小賣最高販賣價格((一)の格差を含む)に一五瓩又は一斗に付五錢以內の配達料を加算したる額とす

(四)朝鮮食糧營團が酒類の醸造に使用するものを販賣する場合の最高販賣價格は本表に掲ぐる朝鮮食糧營團の最高販賣價格((一)の格差を含む)に一叺に付五圓廿錢を加算したる額とす

(五)朝鮮食糧營團が消費者に直接販賣する場合の最高販賣價格は本表に掲ぐる朝鮮食糧營團の最高販賣價格((一)の格差を含む)に一叺に付廿五錢を加算したる額とす

(六)本告示に掲ぐる府邑面以外の府邑面の最高販賣價格は道知事の定むる所に依る

(參照)昭和十六年朝鮮總督府告示第千九百六十五號は米穀の種類、銘柄及等級別最高販賣價格を定むるの件なり

資材蒐集に活潑

農地營團各工事本格化

朝鮮農地開發營團の本年度施行事業は各工區とも漸く本格化し、廿六日には最大工事たる平南水利の起工を見るに至つたが、工事の進捗は資材たるセメント、木材の手當がやゝ困難な狀態にあり、セメントの如き本年度總所要量七十萬袋のうち第一・四半期において十五千袋を入手し得たのみで第二・四半期分五萬五千袋は朝鮮のみで現品入手に至らぬので池田副理事長はこの程平壤に出張、これが促進方折衝の結果近く第二・四半期分の發送を見ることとなつた

なほ平南水利の本年度所要木材三萬五千石についても平南道內よりの供給額は一萬五千石以上は困難なため平北より一萬七千石の供給を受けるべく決し道當局と交渉の結果、諒解を得たので木材に對する懸念は一應解消した

損保合同機運

三社合併の餘波

【東京電話】六十五年の歷史を有する我が國最古最大の保險會社である東京海上火災保險會社ほか二有力損害保險會社が時局に鑑み今回自發的に合併することになり、この旨廿一日大藏省から發表されたのは、時局柄特に人的、物的資源および資本の重複を避け、併せて合同により經營の效率をあぐると共に時局に即應した積極的經營を行ふことの必要を認めたことによるものであるが三社の合併に刺戟されて現在內地三十三社、台灣一社計三十四の損害保險會社の間にも合同の機運が釀成した點からいつて單に三社の合併にとゞまらず、損保業界の整備統合を大いに促進するものとして意義が深い

我が國の保險事業は、損害保險たると生命保險たるとを問はず國營的な色彩が強く加はつて來てゐることは否定し得ない即ち昭和十五年三月から實施された損害保險國營再保險法に基く損保の國營再保險はもとより、大東亞戰爭勃發後に於ては一昨年十二月より實施された戰爭保險臨時措置法に基く物に對する戰時保險、更に本年四月施行の戰爭死亡傷害保險法に基く人に對する戰時保險なども形は民營であるが、その收支計算は結局最後に國庫で負擔するのであるから、實質的には國營と云へる

海洋筏で急移入

朝木社割當引取

內地材の移入については十八年度割當は僅少で期待困難なため朝鮮木材社では十七年度分殘材の引取に極力努力しつゝあるが、右殘材のうちには〇〇材も相當含まれてゐるため〇〇の支援を得ることになり、大體順調な搬入を見てゐる、而して造船材の移入には海洋筏を以てすることゝし、既に九州本土及び對馬より二回に亘り合計〇萬石を輸送したが十月以降は風向の關係より相當困難な狀態にあり且つ曳船も〇〇丸は一隻返還したので年內は先づ對馬より機船による試驗的曳航を實施する豫定である

朝證長期淸算

(廿七日後場)

銘柄		當限	中限	先限
高周波	寄	[illegible]	—	[illegible]
	引	[illegible]	—	[illegible]
鐘工新	寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	引	[illegible]	—	[illegible]
遠仙	寄	[illegible]	—	[illegible]
	引	[illegible]	—	[illegible]
小林	寄	[illegible]	—	—
	引	[illegible]	—	[illegible]
マグネ	寄	[illegible]	—	[illegible]
	引	[illegible]	—	[illegible]
朝鑛新	寄	[illegible]	—	—
	引	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝鐵城	寄	[illegible]	—	[illegible]
	引	[illegible]	—	[illegible]
朝石	寄	[illegible]	—	—
	引	—	—	[illegible]
朝新	寄	—	—	—
	引	—	—	—
岡南	寄	[illegible]	—	—
	引	[illegible]	—	—
朝州	寄	—	—	—
	引	—	—	—
三重新	寄	[illegible]	—	[illegible]
	引	[illegible]	—	[illegible]

時事小解

カーバイト

◇……アセチレン自動車燃料に使ふカーバイトはどんなふうにして造られるだらうか、今度日本窒素が水豐ダムの附近に建設した湖水工場の見學記を掲げカーバイトが出來るまでを紹介しよう

◇……湖水工場は水豐から供給される豐富な電力と價石の石灰石及び平南の無煙炭を原料に十月下旬から民需用を一手に引受けて操業を開始した、電力のことは今更喋々する要もあるまいから、これは別として

◇……先づ石灰石は十二キロ彼方の鑛山から山傳ひにケーブルによつて原石を空から運ぶ仕掛になつてゐる、一個の籠に半噸を積み、白米位の間隔で兩端りに繫がれ、空中をくぐつて運ばれて來る、原石と無煙炭と混ぜ、一緒くたになつていよく巨大な電氣爐にほふり込まれると、大口を開けて待ち構へてゐる爐の口へ順々に入れる、工場の全能力が動き出したら一時間に百廿噸を空中を運んで來ることになる

◇……出來上つたものは爐の下にある大きな鍋に流れる、これは赤熱の塊りを湯の鋼で受けて原石一〇に對し無煙炭一の割で交配して原石を燒き、石灰にしてしまふ、石灰は厚んだ鍋はレール傳ひにトンネルを通り、このトンネルの中は下を通る電熱のカーバイトが通るのでその頭上には煤炭を積んだ運搬機が二度往つたり來たりする、これは燒けた煤炭を冷却機に入れると危險なのでカーバイトの高熱を利用して乾燥するためにこんなトンネルを考へたもので、同工場の新機軸だ

◇……さうだ濃度が下つたカーバイトは破石して爐に詰めればこれで市販用になるわけ、工程はひどく簡單である

◇……また湖水工場は所要の濃縮資材が外にもう一基除爐を備へてゐる、爐の掃除や補強には數ケ月を要し、自然掃除のため年に二、三ケ月生産を休まねばならぬ、今日生産增强緊要なる折これは大損なことだから、そこで余分に爐を用意して掃除の時にはそれをレールで持へ動かし補充用を入れ換へることにした、入れ換へに何日か休むだけで濟むから生産增强を阻害しないのも同工場自慢の一つである

隨想錄

『功の多少を計り彼の來處を量る』『心を防ぎ過貪等を離るを宗とす』これは禪の食事作法の一節である。功の多少を計るとは食膳の上にある食を作つた人々の勞苦が如何に大であるかを考へること、來處を量るとは食糧の困つて來る徑路、運ぶ人、料理する人、給仕する人等の勞苦を想ひ感謝して箸をとれと言ふ意である◆米一粒の中に籠み込んでゐるお百姓の勞苦が如何に大きく尊いものであるかは論ずるまでもあるまい。雨が降つて我が散歩や登山に行けぬ等と贅澤を言つてゐる時お百姓は慈雨として喜んでゐるお百姓のあることを忘れてはならぬ◆腹は空りである。贅澤である。過食は飽食である。贅澤であるから、如何に栄養のあるものでも怒りながら、愚痴りながら食べたのでは營養どころか生理的に惱を害する滿腹の時には、山海の珍味も美味とはならぬ◆ほしくなければ食慾を前に置いて二日でも三日でも食べずに見てゐるがよい、腹がへつて來るにつれ、麥飯がだんだんうまさうに見えて來る」これは或る劍術の名言だが、物をおいしく食べる祕訣はこれだ、うまいのまづいのといふは贅澤である◆東條首相が『一切の價値の行賂りを一擲せよ』と言つたがこの態度は先づ食生活から始めねばならぬ。うまい、まづいを言ふ前に食物の中に含まれてゐる多數人の多大の勞苦を合掌しつゝ嚙みしめる心……これが勝ち拔く力の根源である。

せきに パイコン 好評絶讃の 鎮咳祛痰 新藥 山本

衛生口錠 カオール 効能 口中殺菌 口熱口臭 健胃整腸 身心爽快 本舗 安藤井筒堂

原料香水 オリヂナル よい香りの永く保つ

☆海軍の戰局讀物國民雜誌☆ 戰線文庫 十一月號 四十錢 〒二錢 現地報道 特輯 海軍報道班員
戰線は日本晴れ 明朗座談會 出席者 畫家 伊東深水 彫刻家 中村直人 漫畫家 近藤日出造 司會 中村正常
☆航空決戰の新樣相…海軍大佐 齋藤正久
軍艦南へ征く 明朗讀物 鹿島孝二
現地報告集 英雄踊り…小林三郎 凜洲潜航記…古賀秀夫 曉の爆擊行(繪と文)…大久保作次郎
レンドバ島血戰記 淺井達三
軍艦も飛行機も忽ち直る 海軍工作學校 宇井無愁
戰ふ電波と新兵器……谷村功
傑作小說 海兵 佐々木邦 建艦の誓ひ 玉川一郎 霧の中の捕虜 納言恭平 搖籃 加藤武雄
(特別附錄) ベラ・ベラ島海域戰局要圖 (附)綱もしき海軍少年兵への道路
東京都麴町區內幸町二ノ二 振替東京六七六四一 興亞日本社

大增頁十一月號 富士 キング改題 前線慰安奉仕特大號
決戰の秋 航空機生產の現狀 武田次郎
出席の大氏研究生活の感激を語る 膺懲戰士の座談會
戰局にはれた敵の嘯き…長谷川才次 武人の風懷…武井中將 い後 聲…鹿島孝二
時代小說 武士道商人道 木村毅
現代小說 愛童群像…平松 小說 魔の片羽…村上元三 現代小說 凱歌…牧野吉晴 小說 一萬ドルの鼠…宮下一郎 洋鬼…大下宇陀兒 時代小說 高杉晋作…尾崎士郎 滑稽小說 馬好き家主…三遊亭金馬
熱血小說 御楯 山岡莊八
感激小說 愛の製鋼所…山岡莊八 必勝の鏡 あゝ太行山…宮本旅人
落語家の鑛山訪問 戰ふ農村 漫畫便り わが家の常會 勝利の記錄 川柳漫畫
東京 大日本雄辯會講談社 四十錢

"俺は征く"學徒勇奮
純血に點す愛國の巨火
壯行特別講座

八紘爲宇のもと、この瞬間も、同じ年輩の若者がそして先輩たちが、ニツコリと笑つて大東亞建設理想の捨て石となり敵の御楯と散つて行く——お〻惜みて餘りある世界人道の敵米英を屠たずば止まん！祖國征きて屠たずば止まん！我等銃後に留まつて安閑としてゐることは斷じて許されん！征いて友の仇を屠たんと、雄猛しくも學園は決戰の庭に動員され勝利の道を征かんと、若き學徒愛國の熱血を沸らせ、こゝに學業半ばにして學窓から戰線へ征く學徒壯行の熱情は奏でられた、雄々しこの若者の血に點ずる愛國の巨火——この學徒のため贐けの特別講座が"說く人、聽く學徒"共に熱い感激の涙をのんで廿七日午後三時半から城大法文學部講堂で開講された

×

講師は朝鮮軍多田參謀で、熱血こもる"迫り來る世紀の決戰と吾等學徒"の講義はまさに愛國多感な學徒の胸肝をゆすぶり至誠の熱情迸して感激の涙すら呼んだのであつた、多田參謀はまづ歐洲戰線と大東亞戰線を眼前にした持久戰略である…と諄々說き起し決戰場裡に肩を若くも認識するであらう學徒に想をこめて贐けの言葉暖かく熱情迸らせ講義したのであつた

過去の戰爭の性格は長い間の蓄積された戰力をもつて戰爭が開始された、今日の戰爭の性格は過去の如く戰力の蓄積を俟つて戰爭を開始しては間に合はない、そこに近代戰の特色がある。その觀點から英國と獨へども何年も何十年も戰ひ拔く戰力を自國内に蓄積されてゐる譯ではなく、それ故にあへて英國を屈服せしめるには英本土に上陸するまでもなく、英本土に運び込む軍需品輸送船を撃沈せしめればよいのである、これにより獨逸は從前まで潜水艦によるこの戰法に出た、その結果英米の從來の建艦を凌ぐ船舶を撃破したがこの戰以來その甚しきは若干低下した、これは英國の電波兵器等の動員がぐつと高まつたためであつた、これに對抗する兵器は獨逸によつて究められて行き來年の春頃は獨逸の積極的攻勢が展開されるのではないかと見られる、攻撃と防禦の兵器はかくして相互に競ふて新しく〱發展して行くのである、現在の歐洲戰線はかくの如き持久戰下に入つてゐる、目下敵のもくろむモスコーに於ての三國會談なるもの〻本質を洞察すればソ聯は飽迄も"漁夫の利"的な出方をするであらう、即ち彼等の言葉で言ふ所謂帝國主義戰爭に世界各國を投げ込んで自己の勢力を擴めんとする本來の性格を根本にした第二戰線を強固に要求するであらう、英米が北アフリカ、バルカンに布いた戰線だけでは滿足しないばかりでなくバルカンに英米軍が上陸しその勢力を扶植することは甚だ苦しく感ずるソ聯である、何故なら西に行詰り東にその求むる道を求め得ないとすれば南に求める外はないからである、ソ聯がバルカン方面に英米が差し延ばした手を不快なものとするのもこれに關因する、併ぐとも五百乃至七百個師の東部戰線の獨軍を退かす兵力なる第二戰線を要求し結局北佛に大軍を上陸せしめることを希望するであらう、然るにドイツの歐洲要塞化はとても北佛に第二戰線を布く餘裕を與へない、問題の性格はこの辺で決は至難である

ここで電波兵器の飛躍的發展を英國のハンブルク爆撃から推察して東北部地方を繞けて大東亞の現段階に移り

敵米は鐵、油の欠乏してゐる日本の立場を見くびつて"日本恐るべし"と大東亞戰爭勃發直前までかゝる日本觀でわれに挑んだ、しかし支那事變で日本は消耗戰一方ではなかつたのである、更に緒戰の勝利で現在の戰線までパツと擴まつた、米國のアレヨコレヨと狼狽する中に日本は鐵石の布陣を布いた、日本が完全なる自給發展の經濟力、換言すれば敵米英を凌つて充分な軍需資源は現在までで限まつた戰定圏よりも面積の少ない圏內で充分である、この圏内の地下資源を掘り出すには適當なる期間が必要なのである、この期限が滿ちた時日本は最後的に正義の鐵槌を敵の頭上に打ち下すのである、この期間が卽ち持久準備時期であり如何なることがあつてもこの期間は齒を喰ひしばつても敵をこの圏內に入り込ましてはならないのだ、來る大なる攻勢を準備する戰局の現段階に諸君は國家の干城として召されるのである、といつて決して壯丁に滿ずべき人口が減少したからではない、人口は他の如何なる國家よりも豊富であると言へるのだ、大學、專門學校學徒は將來當然社會の指導者としての地位につくのである、然るにこの決戰場に參戰しないで果して將來社會の乃至は大東亞の指導者たる資格があるだらうか、これが打開になんら貢献することなしになんの指導的資辭が昇せるのだ、半島人學徒に與へられた數次の榮譽も壯丁が足らないからといつたものでもなければ將校が無いためでもなく、實は將來世界の指導國民の一人としての資格、力量、精神を備へ持たすためである

多田參謀の特別講義はかく說きかく訓し、聽講の學徒の双頰は紅潮し、齒を喰ひしばり"俺達は征かねばならん、自分たちの純血な若い肉むらで敵に體當りを喰はせ、粉碎してやるのだ—"と固くも誓い誓ひを沸らせて聽き入り、やがて暗い講堂に灯が入つてもなほ講けの熱の講義は感銘深く續けられ六時卅分終了したのであつた

出陣學徒へ多田參謀の講義

お芋の穴藏マッチで視察
―小磯總督・三千浦への途次―

【釜山にて坂本特派員發】秋晴の山道を自動車は矢のやうなスピードで一路三千浦を目指して驀進する、所によつて時速八〇粁から一〇〇粁近い超スピード——廿七日朝八時旅館春日を後にした小磯總督の一行は小林祕書官、宇山屬、新聞記者二人といつた極めて限られた人員だ、案內役は大野慶南知事一人、三千浦へ三千浦へと驀進するうちに十時半過ぎ頃時ならぬ場所で自動車が止つた、大野知事との間に、どう話合が纏つたか國民學校生徒の松根油窯を見ようといふのである、泗川郡守、土田校長の案内で眞直ぐに校舍裏に出た、そこでは七ツの松根油窯竈が盛んに褐色の油をポタリ〱と垂らしてゐる、總督はつか〱と竈口に歩み寄つて行つた、さうして原油の流れて來るのをあかずに眺め、默つて出て來るとまた次の竈に入るといつた具合に七つの竈を入念にみて行つた、ひどい時には三分、五分とあかずに眺めてゐるのだ、全部をみて了ふと初めて腰のあたりを叩きながら泗川郡守、土田校長を前に

『國子はどうか、一箇何貫位掘れるか、資材を取りに行く國民學校の子供達で怪我をした者はないか』

など〱矢繼早の質問である、次は土田校長に對し

『生徒は何人ゐるか、卒業生はどう指導してゐるか、教育の主眼はどこに置いてゐるか』

と質し、校長が

『國體の本義の透徹を期してゐます』

と答へると

『よからう』

と滿足げに頷き、更に

『機會があれば君の方から近づき、面職員になることもよろしいが、出來るだけ食糧の増産に直接當るやう指導し給へ』

と激勵、機嫌よく記念撮影のカメラにおさまり歸りかけたが總督は、『馬鈴芋はどうかね』とまた聞き出した『よく出來てゐます』との返事に

『では見せてくれ給へ』

と校長室に入る、既に準備が出來てゐたものらしくふかし芋を皿に盛つて來ると

『薄ふく〱生のやつだよ、掘り出したのを持つて來て欲しい』

といひながらそれでも皿の上に盛つた芋を取つて口に入れた、やがて生徒が鈴なりになつた芋蔓を持つて來ると

『ヤアこれは、あまりよくないぞ』

と總督は遠慮なく批判する、芋問答を繰り返したのち芋の貯藏庫に出掛ける、こと食糧のことなればたゞならぬ熱心さをみせる總督は自らマッチを擦つて眞暗な穴藏に入つていつた、藏の構造、製法、貯藏法等納得のゆくまで聞きとつた總督は漸く穴藏を出る、さて歸らうとすると遙か向ふで密集をしてゐた生徒達が總督閣下に敬禮の號令と共に直立不動擧手の禮をすれば、總督もまた擧手を返して

『諸君御機嫌よう、しつかり勉強し給へ』

と賴母しげに激勵再び自動車を驅つて三千浦に向つた

牛島海のつはものは育つ　4

【鎭海にて田中特派員發】[illegible]"海の護り"に欣然參加した海軍兵志願者の家郷における箇々の環境をふり返へつてみるとは後から集立つ海のつはものにとつても有ながち無意味なことではなからう、兩親を失ひ長男の身を幼い弟妹にはげまされ敢然と出で立つた訓練生、さてははるか九州の南端から、たつた一人の兄に附き添はれはるばると試驗場に臨んだ者、または郵の激勵に可愛いゝ誇りの愛兒を勵して勇んで入所した訓練生等々一人々々の蔭には父母や兄弟、友人近親者の涙ぐましいはげましと年齒に溯る懇親の赤誠が秘められてゐるのだ、これら第一期訓練生の職業、年齢、學歷、資產、家族、修得状況から父母妻子の狀況、權利更に志願に際し近親者の示した態度を數字的に例を引いてみる（以下數字はすべて百分比とする）

◇職業　農業が壓倒的に百分比三四を占め純朴な農村青少年の愛國心が強く反映し、次いで職工、會社員、教育者の順で數十種の職域のうち教育者の六は知識階級の自覺と強い決意が酌みとれる、後は學生六、商業五、公吏五、官吏三、店員三

◇年齢　十八歲二八、十九歲二五、二十歲二〇、十七歲一八、十六歲六、二十一歲一〇で年少者が比較的目立ち白昆隊さながらの風貌を以つて年長者と共に訓練にいそしんでゐる

◇學歷　各種中等學校出身者二二、高等科一〇、初等科六四で他に專門校出身者も數名數へられる

◇資產　一千圓以下三〇、同五千圓四一、同一萬圓一五、同十萬圓一〇で中流者が過半數を占めるが十萬圓以上の資產家も十指を數へる

◇修業年限　中等教練一四、青訓一、二、三年まで各一三、四年修得者六となり全體の五九が教練を受けてゐる

◇父母妻子の狀況　父の死亡せる者一五、同母五、父母共に死亡せる者二、妻帶者六、父親である者〇・八

◇續柄　長男四一を最高位に次男三男の順で二七、一六、八、四、一、〇・一と七男まで續いてゐるが半島に於ける家族制度の改善が窺はれる、最後に志願に際し之を勸めた者、祖父母四、父一〇、母九、兄弟二八、姉妹五、妻〇・一、友人四〇で好數字を擧げ、反對したる者は祖父母一、父一、母五、兄弟姉妹〇、友人〇・三で、ほんの微微たるものであるがやはり吾兒可愛さの盲目的愛情に溺れる母親の覺醒が望まれる

—◇—

かぎりない澄んだ大空に眞綿を浮かべた樣な秋雲がふんわりと漂ひ流れてゆく、激しい訓練のひとゝきである、遙か南溟の空につながる蒼海にぢつと瞳をこらす訓練生ら、あゝ、山本元帥もあの大空で訓練しそして尊くも散つたのだ、

底なし、食事の甘さ
『五省』に心澄むデッキの正座

"繰來む昆"元帥が生れで海軍に入りその氣魄を祕れる自分達の幸をしみ〴〵と味ふのだ、"オイあの雲の高さはどの位か"教班長の問ひにハツとめざめた樣にそこかしこから應答があがる"ではあの雲の流れの速度は"…決戰下に望翔間でみつちりと海兵としての素地をつくり上げるにはどんな些細な現象でもそれを教材として利用する、烈日の秋陽が早くも西に傾く頃流れ出る熱汗を拭ひもせず次々と織り込まれた一日の訓練も終り十七時餘韻を引いて"科業止め"の喇叭が鳴り渡るとやがて樂しい夕食だ、大きな食器に山と盛られた麥飯も伸び盛りの旺盛な食欲はまた〻くまに消化して仕舞ひ一食二合飯を超過する者もある、毎日の入浴も食事と共に訓練生らにとつては樂しい時間である、猛訓練に汗とほこりで汚れ切つた身體を

大きな浴槽　に浸し一日の疲れを洗ひ流すのだ、たくましい肉體が目白押に並びお互ひに背を流し合ふ姿はほしい情景もみられる

洗濯も毎日食事後か、科業前の短い時を利用してやる、洗濯の初めての者には教班長が手をとつて丁寧に指導してやる

"總員洗濯に行け"

この言葉はどの兵舍からも始終聞かされる、午前中にやりました等と返答しようものなら"褌は二時間毎に洗つてもいゝのだ"と頭から食らはされる、海軍では何よりも淸潔を最も尊ぶ、これは美しさを愛する海軍の傳統の一つの現れでもあらう、十八時から十九時までの温習が濟むと"總員釣床下し"となり梁から梁へかけ渡されずらりと並んだ釣床の下から總員エッサ〱の掛け聲も勇ましく就寢前の甲板掃除が始まる、かくして汚れ目一點とどめぬ磨き込まれた兵舍の床上に、こゝではデッキと云ふ、そのデッキにピタリと正坐した訓練生らはこゝに海軍獨特の"反省の時間"に入るのである

暗い所內が一瞬寂と靜まり返へる五彩の油を流したやうに夕凪いだ〇〇灣に薄暮が迫る時靜な兵舍の中には心眼を澄ました訓練生が瞑目のまゝ默し切つてゐる

一、至誠に悖るなかりしか
一、言行に恥ずるなかりしか

端然とときすまされた心の相で己が魂をふり返へる

神聖な五省　である

一、氣力に缺くことなかりしか
一、努力に憾みなかりしか
一、不精に亘るなかりしか

嚴肅を極めた規律の生活が自然に反省させるのである、おかに血潮の中にとけ込む朝の聖諭の寧靜と共にこの五省は海軍軍人としての魂の錬成なのだ、"私を無くし一切をお上に捧げつくして御稜威の長きに說き、天佑神助を信じ切るところに一切の迷妄なく必勝不敗の信念が燃え上るのだ"所長の訓辭を魂の底で思ひ反す訓練生もある、かくて嚴粛な反省に七生報國の眞心を固めた訓練生達も二十時當直將校の初夜巡檢の行はれる頃には溫かい毛布にくるまつて小船にゆられる安らかさで夢路を辿るのであるが巡檢が濟んだ廿二時の消燈まで兵舍內の自由時間を許されるのだ、再び起き出で熱心に演習を繰返す者もあれば、家郷を偲び幼い心で父や母や兄妹に心樂しく通信を書き綴る者など、さては教班長を圍み和やかなひとゝきを過す一團もあり、明日の猛訓練に備へ樂しい時が過ぎてゆく、廿二時消燈と夜空をふるはすラッパと共に各兵舍は一齊に靜まりかへる、だが訓練生の日課は終つた譯ではない、一時間交替の歩哨と不寢番勤務があるのだ……

十月〇日　初めて歩哨だ、教班長から

歩哨の責任　は部隊の死命を左右すると聞かされたが緊張に身內がふるへる樣だ、山も海も眞黑で無數の星だけが美しくまたゝいてゐる、ぢつと凝視してゐるとその星の一つ一つが聖戰に散華した勇士の魂魄の樣に思へ、そのまたゝきはしつかりやれと激勵してくれるやうだ、闇の中に目を据ゑるが何も見へない、闇の中でも物が見へなくては海兵になれないと云ふ、涙が出てくる程ぢつと空の一點をみつめてゐたら、アッ見へた眞黑い空にこれも眞黑な山の稜線がかすかに見へるではないか、私は嬉しくて今度は本當に涙があふれた（Ａ訓練生）

十月〇日　初めの吊釣床が窮屈でオンドルが戀しかつた奴今はもう馴れた、ハンモックに這入ると色々なことを想ひ出すが努めて其の日習つた學科の暗記をやる、いつの間にか眠つてゐた、だれかが私の釣床に觸れた樣に感じ毛布を被せてくれた、目をひらくと不寢番の〇だ、足音を忍ばせ一つ〱の釣床をのぞいてゆく、御苦勞だな、有難うと口の中で云ふ、自分も不寢番になつたら親切にしてやらうと思つた（Ｂ訓練生）

訓練生の日記にはこんな文章が記してあつた、かくして文字通り朝も夜もない訓練に積ゆまざる努力を續ける訓練生達である

【寫眞＝憧れの水兵服に喜びの訓練所生＝鎭海警備府許可濟】

馬の寄生虫に調査のメス
清棲幸保伯爵大陸各地へ

【釜山電話】文部省資源科學研究所嘱託清棲幸保伯爵は大陸各地における資源科學調査のため同研究所囑託中村幸雄氏を帯同廿七日釜山着一泊の上廿八日"大陸"で北行したが、清棲伯は語る

約二ケ月に亘り主として中支方面の鳥類を研究するつもりだ、最近大陸方面に馬の寄生虫が蔓延してゐるので鳥類から來てをるのではないかと思ふ、そこで鳥類を初め動物全體を調査の上その對策を樹ずるつもりである、序でに大陸方面の鳥類の習性や農作物の害虫なども調査するつもりだが、何かきつと目新しいものがあるのではないかと實は私も心から期待してゐる

滅敵に沸る議會

"量"で最後の止め
重光外相、米の完敗を喝破

【東京電話】廿七日の衆議院豫算總會で重光外相は米英が自國の世界的帝國建設欲を徹底的に暴露し同時に我が大東亞完勝政策の明朗を世界に闡示した、植民地維持に汲々する老朽英國その地位にとつてかはらうと暴望の野心に悪足掻きしつゝある米國、この兩國がけふの重光闡明を何と聞いたか、重光外相は彼等は何故廣東開の地に艦軍に他の子弟を犠牲にして敵の砲彈に曝してゐるか、なんのために大軍を派して東亞人の手から奪はんとするのであるかと彼等の戰爭目的を痛烈に指摘してその野心を衝いてゐる、目的のない戰爭否あるにはあるが、それは金融資本主義の利己主義的目的で世界人類の福祉とかけ離れた利己主義的目的でありその目的達成のために自身の子弟を砲煙の中にさらしてゐる、彼等の指導者ルーズベルトチャーチルの顏がみたいのである、それも勝てる希望があるならまだしも既にそんな希望は皆無の鎧袖一觸に失はれてゐる筈である、この事實を現實に彼等にみせてゐるのが大東亞の現況である、ビルマ、フイリピンの建國、印度假政府の承認、新中國の躍進、マライ、スマトラ、ジャワ、セレベス等到るところに繰り展げられてゐる遊ばしき共榮圈建設への協力而も大東亞十億民衆のこの建設に對する相貌は重光外相の言葉通り『吾人は吾人の鄕土を侵略より護り、擁護く——ための協力である』血は水よりも濃いたとへ、而も米英の桎梏に惱み拔いて來た東亞人が日本を救世主と崇め慕ふことは理の當然でありその協力に血が通つてゐることは彼ら米英が如何に厚顏でも認めざるを得ない、その證據にルーズベルトは移民法を改訂して重慶に媚び、おこがましくも比島の獨立などと白を切つてわが平和政策に追隨してゐるのである、この期に及び米國の惡足掻きはその物力依存にあるのであるが重光外相はこれにも痛い一矢を放つてゐる、卽ち『アメリカは困難な長期戰爭のためにイギリスから獨立し得た歷史を以てゐる、これもアメリカが鄕土を護るといふ精神によつて戰爭し、勝敗の原因は唯單純なる兵器の數でもなく、物質の量でもないことはアメリカ人自身が一番よく承知してゐることだ』と、これまで喧傳されて來た敵の豐富な物資の彼等ではあるまい、このことは既に米國が精神力において完敗してゐる證據である、しかしながら我々は彼等が物に賴つて決戰を挑まうとする以上物には物で最後の止めを刺さなければならないのだ

【寫眞＝重光外相】

示す火の闘魂
卅日開く學徒臨戰決意大會

過去如何なる時代にもなかつた程の國家的期待を浴びて今や學徒兵の足音は秋深む學園に高らかに響き渡つて第一戰列に加はらんとする、"年齒各大學、專門學校學徒もこの鐵石の進軍が步調も逞しく鳴り響く、若き日の感激の想出も深い神宮外苑が既に開かれた內地の各大學、專門學校の出陣學徒を送る壯行會に呼應して朝鮮でも城大を初め全鮮各專門學校生徒、國民總力朝鮮聯盟後援の下に三萬學徒の決意と鬪魂を一點に凝集して卅日午後一時半から"學徒臨戰決意大會"を城東原頭京城運動場で開催することとなつた、この日京城の大學各專門學校は言ふまでもなく京城以外の大邱、平壤、水原の學徒代表も馳せ參じ更に我らの兄選の壯なる門出を心から祝らんとする府內男女中等學校最高學年生徒も參列して文字通り明日の日本を背負ふ若き世代の感激と悠久の大義に生きる崇高なる殉忠の誠心を爆發する、この日小磯總督、板垣軍司令官、後藤鎭海警備府司令長官も臨席して學業を中道で征で立つ若き學徒に贐けの言葉を贈りその門出を飾ることとなつてゐる

この日午後一時三萬男女學徒は決戰服裝で所定の場所に集合、來賓の入場を俟つて國旗掲揚、宮城遙拜、ついで篠田城大總長が宣戰の詔書を奉讀し、必勝を祈念して、更に篠田總長が登壇式辭を述べ、續いて小磯總督、板垣軍司令官、後藤鎭海警備府司令長官の激勵の辭、これに應へて大學、專門學校のそれ〴〵の代表が皇國ひ立つ決意を力強く闡明し一同海行かばを合唱、總督の發聲で聖壽萬歲、引續いて分列行進に移り受禮する小磯總督の前に挑刑を捧ぐさせて敵首都に乘り込まんばかりの分列行進を繰展げる

執れ！秋耕の鋤
近く農業報國運動展開

戰時食糧の重大使命を擔つて起つた農村半島の農村は一すぢの增產街道を驀進してゐるが、この食糧決戰陣になほ拍車をかけて國民總力朝鮮聯盟では十月初旬から第四期農業報國運動を展開、すでに適期刈取、麥蒔の適期播種、栽培面積の擴張などを斷聯、さらに努力不足に對しては婦人部隊の動員、愛國班、生徒、兒童の動員によつて見事征服、秋たけなわの增產職に非常な實積をあげたが、この運動期間終了の十二月末までの今後々年に有終の美をあげるべく從の秋耕についてもうんと力を入れて積極的協力を呼ひかけることとなつた、畓の秋耕は米の增產に多大の影響をきたし、これが完全に遂行されることによつて地力の增進と金肥不足を補ひ、一面裏風のため病虫、害虫の死滅をはかるなど、明年の米作を好條件に導くことゝなり、ことに朝鮮農村在來の迷信的風習として旱害の年は秋耕を行はない弊が殘存してゐるので、この際、この惡風を打破、麥蒔、稻刈にひきつづいて全部落村は一齊に結氷期に先立つて徹底的な秋耕を行ふものである

配給監査を強化

生活必需品の配給は當局の指導取締が強化されるについて次第に良好な傾向を見せてゐるが、中には甲の班で配給されたものが乙の班では配給されなかつたり、量においても相當の差があつて一部府民の非難の聲まであるのに鑑み永登浦區役所では各町會の取扱ひ上に遺憾の點はなからうかと今月中旬頃から金吉總務課長、松本社會係主任が管內十七ケ町會に出向いて事務監査を行つたところ、大部分の町總代が直接事務の監督に當らず事務員に任せきりで月二、三回申分的に出勤してメクラ判を押すやうな狀態で配給物品の行方が不明なところが少くなかつた、これは區役所が一定方針を指示しないため町會自體で最も簡便な方法を取つてゐるところに原因があるけれども多くは町總代の怠慢に依る點も多いので今後配給方針と取扱ひ方を明示すると共に事務監査を强化しかゝる弊害を一掃することになつた、第二回の事務監査は來月二、三日頃から始まる豫定

魚介の出荷に萬全

京畿道では鮮魚介出荷の圓滑なる運用を圖るため廿七日午前十時から道廳第一會議室に各府郡水產關係職員、道漁聯、各漁組代表者卅名を招き『京畿道鮮魚介出荷統制事務打合會』を開催▲沿岸漁業獎勵に關する件▲淡水漁業の指導獎勵の件▲漁村指導練成の件▲漁業用松炭油の件を附議決定した

急特題話

☆……全鮮の籠球道場がこのほど閉鎖された——國民體育の決戰態勢を整へて、總督府はさきに戰時國民體育指導要綱を確立、實施の重點を戰力增强の一點に集約させ競技中心より鍛錬へと轉換させたのである

☆……これにより國民體育の實施種目も整備された結果、球技と共に籠球もその實施種目から除かれて、それ以來籠球は影をひそめてしまつた

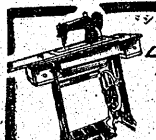
☆……京城の中央基督教靑年會館、水標町東洋籠球會館もこのほど閉鎖と共に、全鮮の籠球倶樂部は當局の勸めに應へて一つ殘らず閉鎖され、これからは武道部門へ轉じ武精神を昂揚して行く

代理店、特約店募集
日本食糧厚生協會御推奨　專賣特許
食榮素
强活性調理料
あらゆる料理に、配給食用に、お米が增へて
美味しく、榮養確保、燃料節約、家庭、工場、
食堂にぜひ一總！
發賣元　大阪　伊藤萬株式會社

決戰下
咀嚼力の確保に
資生堂齒磨
中・大　三十三錢・五十七錢

株券盜難公告
[illegible]
藏光正藏

神經科
醫學博士　服部六郞
醫學博士　明桂完
城北病院
京城府城北町二八九　電東⑤三〇九四番
市內病室　鍾路長安ビル二階　電光③二七五五番

ミシンの御用は

萬ミシン商會

社名變更謹告

今般當社社名を左の通り變更致候間此段謹告仕り候

舊社名　株式會社熊平商店

新社名　朝鮮熊平株式會社

代表取締役　熊平源藏

本社　京城府中區本町二丁目百番地　電話本局②[illegible]番

出張所　釜山府本町一丁目　電話三一一八番

工場　京城府永登浦區鷺梁津町　電話龍山④二〇九八番

B.64
大空へ

ミツワ肝油ドロップス
世紀の決戰場へ
空は健康の決戰場だ……
吾等は一刻も早く馳參じ御國へ報ゆる時は今この時です一人の病弱者があつてもなりません
V・A・B・D劑・鐵・カルシウムを多角的に綜合含有せる本劑により不足な榮養分は常に補充して下さい
價格 1.27 2.33
東京　ミツワ石鹸本舗藥品部

內地行少年工員募集

一、求人者　住友和歌山製鋼所

二、就業場所　和歌山市（大阪市ヨリ電車ニテ一時間半南方ニ在リ）

三、作業種類　製鋼及壓延作業仕上其他機械的作業

四、採用人員　多數

五、採用條件　年齡滿十六歲以上滿二十歲迄ニシテ思想堅固身體強健ナル男子國民學校卒業程度ノモノ

六、待遇　年齡別入社二ケ月後ノ月收（實働一日十時間ニテ）十六歲五七圓、十七歲六二圓、十八歲六九圓、十九歲七五圓、二十歲八二圓

七、手續　十一月十二日迄ニ職業紹介所ヘ寫眞、履歷書、印鑑、戶籍抄本各一通ヲ添ヘ紹介所ヘ差出シ申込ノコト　但戶籍抄本ハ後日ニ持參スルモ可

八、銓衡方法　人物考查　身體檢查

九、銓衡日時及場所　十一月十六日　午前九時　[illegible]

一〇、受驗旅費　[illegible]其他詳細ハ最寄職業紹介所ヘ照會セラレ度シ

清州職業紹介所

急募

一、捲線に經驗ある方　數名

一、女工員　數十名　國民學校卒業者十四歲より十六歲迄

十月二十一日迄履歷書携帶の事　京城職業紹介所又は

貞洞町二五　東洋劇場上　電光二一二九番

東亞無線電化研究所

公告

當會社ハ昭和十八年九月二十日臨時總會ノ決議ニ因リ解散致候ニ付當會社ニ對シ債權ヲ有セラルル方ハ[illegible]申出相成度此段公告候也

昭和十八年[illegible]

京城府[illegible]

有限會社中村鑿岩機商會　清算人　横山禮太

駐在員募集

[illegible]

朝鮮宣傳班

生徒募集
第十八回新學期　募集締切　十一月二十日（四ケ月卒業）
官認　大田寫眞學院
規則書要郵券（大田府大興町）電二五六番

防空万一の場合
應急手當に備へ
やけどに切傷に！
非常時に必ず各戶で備へませう
殺菌作用の強い殺菌作用、優れた肉芽發生作用、速い血止、鎭痛作用は總ての外傷、やけど、凍傷、皮膚病一切に用ひて卓効あり
本舖　ケンビン株式會社
家庭常備藥　ケンビン

安國町電車停留所前
皮膚・泌尿
性病科
醫學博士　吳元錫
電光③2131

失踪宣告

[illegible]

右不在者ハ昭和[illegible]以來生死不明ニ因リ失踪ヲ宣告ス

昭和十八年[illegible]　京城地方法院

除權判決

[illegible]

第二回決算報告

資產之部　[illegible]

負債之部　[illegible]

金谷煉炭株式會社

第一回決算報告書

[illegible]

十井殖產株式會社

づつうにサール

債權申出催告書（第貳回）

當會社ハ株主總會ノ決議ヲ以テ昭和拾八年拾月貳拾日解散シタルニ付債權者ハ昭和拾八年拾貳月拾貳日迄ニ其ノ債權ヲ申出ヅベク若シ右期日內ニ申出ナキ債權ハ之ヲ清算ヨリ除斥致スベク候也

昭和拾八年拾月貳拾七日

京城府中區[illegible]

不二鑛山株式會社　清算人　[illegible]

株式名義書換並ニ質權ノ登錄停止公告

昭和十八年十一月四日ヨリ[illegible]株式名義書換並ニ質權ノ登錄ヲ停止致候間此段及公告候也

昭和十八年十月二十八日

朝鮮銀行

岸本規矩郎儀社用の爲め出張の歸途去る十月五日連絡船崑崙丸にて遭難卒去仕候

茲に生前の御厚誼を拜謝し此段御通知に代へ紙上を以て謹告仕候

追て告別式は來る十一月二十九日午後四時若草町西本願寺に於て相營可申候[illegible]

昭和十八年十月二十八日

京城府[illegible]

大海堂印刷株式會社

嗣子　岸本哲郎

博文公逝いて卅五年

職務に眞摯敢闘　細い所によく氣づく方

想ひ出を語る田中カツさん

明治の元勳半島施政の功勞者としての故伊藤博文公の偉大なる風貌は大東亞戰爭下いちだんの生彩を放つて國民の胸に浮彫される、廿六日は恰も故公の卅五回忌に當り府内奬忠壇博文寺ではしめやかな追悼法要が執行された、廿七日にも同樣故公ゆかりの人々によつて偉人を讃仰する追悼會が催されたが、中にも一入の感慨に胸を熱くしてこの日を迎へた公在りし日の日常を倶にした京城生え拔きの老女がある、博文寺境内の茶店〝寳六庵〟の女將田中カツさんがその人である

故伊藤公が明治四十一年韓國大使として入城した初の會合の席上に奉仕以來數年間を〝御前樣〟〝寳六さん〟の呼名で親しく日常の用を辨じたものである、公逝いて卅五周年共榮圏建設に着々目覺しい進展をみせ故公の偉大さが偲ばれる秋〝伊藤公は底知れぬ偉い人でございました〟と田中カツさんは次のやうに思ひ出話を洩した

世界中を相手にして日本人が東洋人を導くなどの大きい戰爭に出會ひまして私は涙の出る程嬉しうございます、年をとるにつけ故伊藤の御前樣の面影は新しく蘇つて『お前達は何をグズグズしてゐるか、銃後はしつかりやるんだぞ』と叱言を受けてゐるやうな思ひでございます、何と申してもあんな氣強い方は珍らしく底知れぬ力の持主だといふ感じでした、盲人が象の姿を撫で廻すやうなもので下賤な私共には勝れてお偉い伊藤公の萬分の一も知り得なかつたと存じます、私は明治四十一年公が韓國特派公使として來城され初の公館に奉仕して以來ズツと知遇を受けまして〝寳六さん〟〝寳六さん〟と呼ばれてゐたので後に私が經營しました店も〝寳六庵〟と名付けて頂きました

公は磊落な一面非常に細いことに氣がつき内外使臣や高官の奥樣方に對する心遣ひにしましても例へば土産物など御自分で運ばれて買ひ整へるといつた風です、眞摯敢闘といふ言葉がありますが公は文字通り寢食を忘れて公務に盡してをられた寸暇を惜まれ袴を召したまゝ夜中ゴロリと横になられ夜明しすることも度々でした、そろ〳〵の際では除りだと存じお召更を嘆願する有樣でしたが『除り夜更しなされてはお身體に障ります』と申上げても『時計には借金せぬ、心配するな』と申されて議政大切な御用をお勤めになり朝九時にはチヤンと面會される有樣でした

只今の長谷川町に當時長谷川大將のお邸がございまして寺内大將等と共に公はよく園遊會に臨まれ豪放磊落な公は春頃板から連れて來られた板場に肥の肉の料理を命ぜられ食した事もございます、皮肉を仰せられることは實に辛辣でしたが女子に對しては冗談交りに優しく接せられ誰とも距てなく話されるといふ風でした

最後はハルピンに參られる際立寄られ、私も長谷川閣下等と共に仁川までお送り申上げました、何のこだはりもなく『ちよつと行つてくる』と仰せられ歸りの汽車にも氣を配られ、十圓札を手渡された時には涙がこぼれました、決して忘れ得ない公の姿を見ます時卅五年後にも伊藤公はなほ生きてをられると思ひます【寫眞＝故伊藤博文公と田中カツさん】

臨時貯炭場設く　近く府内十數ケ所に

燃料輸送努力の節約と搬込利便の一石二鳥を狙つて近く府内十數ケ所に臨時貯炭場を設けることになつた京城府では、廿七日午後一時

莨廨を献納　永登浦警防團第二分團

伸び行く工都の防衛に日夜敢闘してゐる永登浦警防團第三分團では

多いぞ本町入口　足の一齊調査集計

四萬九千六百卅六人

四年毎に府民の交通量を調べる京城府では、決戰下運輸節に防空に備へるため廿二日、南大門、本町入口を初め府内主要交通網百六十ケ所に京商生徒を動員して『足の一齊調査』を行つたが廿七日交通量の集計が纏まつた

この集計によると府内交通の心臓部といはれる本町入口は正午から午後一時までの通行人が七千二百九十八人で四年前より二千二百七十六人の増加で午後六時から同十二時までは七千四百九十五人で四年前より逆に七千二百四人の減少を來たし、この夜の通行者減少の數字にも滅敵に一路邁進してゐる府民の緊張ぶりが反映されてゐるなほ同日の本町入口通行者總數は四萬九千六百卅六人で京城最初の南大門地下道利用者は四萬三千五百五人の多數にのぼつてゐる

議員懇談會

京城府第三部會では廿七日午後二時から府參與會室で議員懇談會を開き議員十九名出席して中本副議長司會のもとに、半島人徴兵實施の前提としての初等教育普及に關する懇談をとげ同四時頃散會した

月例府民登行　錬成會を擧行

戰ふ府民の心身を鍛錬し敢闘精神を昂揚するため京城府體育振興會登行團では月例府民登行錬成會第十六回登行指導者錬成會を卅一日午前八時四十分から擧行、登行場は孝子町電車終點から出發、碑路往復で參加者は定刻までに孝子町電車終點に集合すればよい

明治節奉祝の夕　府民館で開く

朝鮮報德會では明治節奉祝の夕を明治の佳節三日午後六時半から府民館大講堂で開催する、この日は長岡請三氏の講演のほか、京城保育學校合唱團の奉祝歌合唱、井上舞踊會の日本舞踊に日本ニユース、文化映畫などの絢爛の繪巻が繰展げられることになつた

一糸紊れぬ操作　府廳特設防護團で訓練を實施

空襲必至の現下、敵機の備へあらば憂ひなしの凛然たる防空精神のもとにたゆまざる防空訓練が繰展げてゐるとき、京城府特設防護團では廿七日正午から京城奬忠壇公園で消防ポンプ操作訓練を京城消防署盛岡部長他三署員指導のもとに實施した、全團員は一台のガソリンポンプを前に指導者の説明する操作方法を聽いたのち、實地操作に移り、五名の團員が消防手の手並もかくやとばかり注水を始めればそれに續いてそれ〳〵各團員は一糸紊れぬ訓練の成果を誇示して敏速にして正確な操作方法を熱心に體得し、敵機何んぞ恐れんの決意を示して午後四時終了した【寫眞＝同消防ポンプ操作訓練】

敵愾心昂揚漫畫展　丁子屋で開く

滅敵の闘魂を沸らす國民總力京城府聯盟主催の敵愾心昂揚漫畫展は廿七日から四日間、丁子屋で開き、仇敵の非人道ぶりを生々しく描いた漫畫百五十點を戰ふ府民に展示する

永登浦署特設防護團秋季査閲式

永登浦警察署内の特設防護團五十餘團體の秋季査閲式は廿九日午後一時から汝矣島で瀧口署長を査閲官に迎へて擧行、道から三輪防護課長も臨席する筈

府民劍道大會　卅一日に變更

京城府主催の第二回府民劍道大會は都合により卅一日に變更、京師武道場で擧行する

京城赤十字第十六回卒業式

京城赤十字病院では廿日午後二時から西大門の同病院で第十六回甲種救護看護婦生徒卒業式、第四回臨時救護看護婦生徒の終了式を擧行

古雜誌を慰問へ　愛國半島日婦・朝鮮軍へ献納

『前線勇士の最も知りたいのは銃後の敢闘譜です、我々の讀み終つた雜誌で皇軍將兵をねぎらひませう』と日婦京城府支部では傘下の二百八十分會に檄を飛ばして一年前のものから最近に至る雜誌の動員令を下したが、締切日廿七日に献納者が陸續と續き、約八萬冊の多數にのぼり、愛國半島婦人の萬丈の氣を吐いた、同支部では銃前と銃後をつなぐこの献納品の山をトラックに移し朝鮮軍へ献納した【寫眞＝古雜誌の山】

滅敵へ長袖も征く　仁川の日婦會員　一萬點を献納

【仁川】なにがなんでも勝拔かねばと、燃ゆる熱誠を衣服の刷新に映じて、日婦支部では去る一日を期し率つて決戰衣更を斷行、全廢した長袖と長紐は更に活かして献納しようと申合せ、これが供出を急いでゐたが、この程その大半が纏まつたので廿六日朝九時から山手町精芳園に池田支部長以下理事たちが參集、献納方法につき協議すると同時に一日がかりで選り分けを行つた、この日迄に集つた總點數は廿八分會で約一萬點であたかも呉服店頭の觀を呈したが罹災民への寄贈、皇軍慰問人形、官衙工場の雜巾、赤ん坊の襁褓等として献納活用されることになつてゐる【寫眞＝供出された長袖を選別する理事たち】

〝車に積んだ慰問雜誌〟

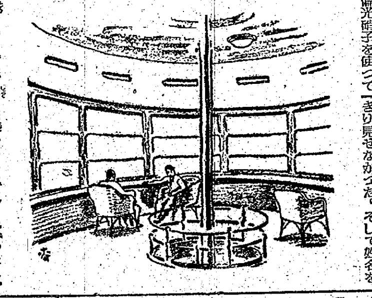
街の慰問袋

〝慰問袋を送りませう〟今前線の兵隊さんが待ち望んでゐるのは郷土の香り高い慰問文と共に娯樂雜誌が第一に喜ばれます、各町日婦分會では慰問用に集められた雜誌の表紙は一々丁寧に千代紙で貼り合はせて完全にして〝どうぞ戰地の兵隊さん私共の眞心をお汲み下さい〟とどし〳〵献納されました、十文字に包裝されてリヤカーに山積されエラリと鋪道にゆらぐ車の梶棒も輕く今度は戰線へ勤勞奉仕です、苛烈な戰線の勇士へ今に慰問の彈丸が飛込むことでせう【寫眞＝府内長谷川町二丁目日婦會員の雜誌献納】

椰子（93）

海野十三（作）　村上松次郎（繪）

意外なる吉報（一）



高い塔があつた。部屋の中は、圓形になつてゐる。そんなに廣くない。坪數でいへば五坪ぐらゐの廣さである。

中央には、鐵製の手すりがあつて、眞中に鐵の柱が天井から床の方に貫いてゐる。急ぎのときは、この鐵につかまつて滑り下りると、階下までわづか十五秒で下りられる。

硝子窓が八方についてゐる。こゝからどこでも見える。しかし逆に外からこの塔の中は見えない。但しそこは別の建物の屋上になつてゐる。それは窓硝子に偏光硝子を使つてあるからだ。

室内はすこしも暑くない。偏光硝子の上に、外から入らうとする太陽の熱線を完全にふせぐ塗料が塗つてあるからである。

もちろん室内には電燈がついてゐる。天井にはめこみのものである。これは無熱燈であるから、光力はつよいが、室内の温度をあげはしない。

その上、室内の空氣は、地底の空氣と還流してゐるので、いつもきちんと攝氏二十度に保たれてある。

室内には、窓の方に向つて腰掛子が並べてあり、ちよつとしたものが置ける狹状の台が窓の下についてゐる。

昇降機はこゝまでは來ない。もう一階下の第九階までは來てゐる。この第十階と、もう上に二階あるが、都合三階は北側に梯子がついてゐて、これを上るやうになつてゐる。

南へ向つた腰掛子の二つが、二名の人物によつて占領されてゐる。

その人物とは、餘人ならず、井關伊平と、曾根宗人の二名だつた。

兩人の顏はあまりよろしくない。あれからまだ數時間たつかたゝないうちであるのに、兩人はひどく年齢をとつたやうに見える。不幸と不運とが次から次へと押しよせてくるこの戰爭研究所を、今はこの兩人が双肩に負つてゐるやうなものでその心勞のほどは察するに餘りがある。

われわれは同情の念をもつて、しばらく兩人の對談を聽くとしよう。

『……すると、諸君は、帆村北鳴が東京市の飛市區の中に、一名の婦人を連れていつたといふのだね。そしてその婦人は、頭からすつぽりベールを被つてゐて、顏をはつきり見せなかつた。そして姓名を名乗ることも肯んじなかつたといふのだね』

『さうです。帆村北鳴が、その姓名を名乗ることを拒絶したのですから』

『そしてこれは井關さんと打合せて許可を得てあるから、名乗るに及ばんといつたさうです』

『同行者のあることは許したが、たとへ誰を連れていくにしろ、やつぱり規定に從つて、記名してもらはなくちや困るな。秩序の紊亂は全く困る』

と、井關は澁い顏をかきあげて、いつになく顏を赤らめて怒つた。

『曾根君。それから例の一件はどうしたい。例の川田加太郎の失踪事件のことだが……』

『それが、まださつぱり手掛りがございませんので……』

『いよ〳〵困るなあ。あひにくと帆村もゐないし……』

と、井關はます〳〵むつかしい顏になる。

撃敵体力　胃腸・食傷に　錠剤わかもと
軍隊は胃嚢で進撃する！とナポレオンは云つた。一億總進軍に當り、本劑で胃腸の組織細胞を賦活強化し消化障碍の恢復を

ラジオ　28日

朝▲六・三〇日本精神の根本 上田德太郎、朗讀▲九・三〇（城）婦人の敎室（鮮語）▲一〇・〇〇幼兒の時間 ピアノ、遊戯▲一一・〇〇國民學校放送『四年生の時間』お話『たゝかふ心勝つ心』原勝

晝▲〇・三〇合唱▲1大政翼贊會の歌2勝ちて止まむ3印度に呼びかける4大アジヤ獅子吼の歌 日本放送合唱團、ラジオ吹奏▲1敵機2ろ號音詔3行進曲 陸軍戸山學校軍樂隊▲二・〇〇（城）國民學校放送『六年生の時間』▲二・三〇（城）朗讀（鮮語）〝潜水艦隊の出撃〟▲四・〇〇（城）國民學校放送『教師の時間』

夜▲六・〇〇少國民の時間 シンフオン（名）管絃樂 名古屋▲六・三〇（城）▲八・〇〇愛國詩、放送劇▲九・〇〇（城）

京日案内　案内料金（前金）種別 一件一回掲込

洋裁　女子　新聞　貸間　電話　借家　求貸　賄付　タイプライター　譲店　寫眞機　賣家　郊外　高級貸事務所　大住宅讓度し　田給萬餘平賣　病室世話係採用　タイピスト　住宅　給仕採用　女工員募集　賣家を求む　仕上工採用　倉庫交換したし　女店員採用　明治製菓賣店　社醫招聘　第一生命保險　賄婦を求む　理研特殊製鐵　タイピスト採用　帝國水産支社

守備募集　女子內勤員採用　明治生命支店　職員採用　火藥銃砲會社　女子事務員採用　京城日報社　貸店舗　電本四三六〇　看守採用　刑務官練習所　新京簡易煖房ストーブ代用 コタツ 萬壽工務所　寫眞東亞印刷文社　京城計理事務所　大藏大臣認可、計理士　乾海苔の御用は 川西商店へ　性病 高橋弘　擴聲装置の御相談は 山中電機　皮膚泌尿性病科　荷造と運搬 新組　資材完備　申眼科　ピアノオルガン　花柳病專門 松野醫院　京城禮式場

明治座　朝鮮時報　日本ニユース　城南劇場　中央劇場　和信映畫館　朝日座　桃花劇場　喜樂館　浪花館　新富座　東洋劇場　大陸劇場　第一劇場　京劇　城寶　若劇　京日文化劇場

引越荷運搬 昭和用達社　古着　京城鍾路 東亞醫院 呉眼科專門　豊田計理事務所　京城府鍾路二丁目 白川吴基 白内科　引越荷造 興亜社　賄婦募集　姙産　引越荷 機械類 專門 丸安組

強力擴聲装置　電氣通信機一般 御用先 軍．官廳．放送局．其他　朝鮮通信機製作所　荷造材料 市内外貨物運搬 引越荷造其ノ他　ピアノオルガン　醫學博士小澤良雄 小澤内科　荷造包装の御相談は 丸二組　病性 内科・X光線 白川醫院

白年雪　28·29·30·31　四日間 晝夜連續　花歌劇團 花・花舞踊隊・管絃樂團 花合唱團　愛國行進　秋の調べ　歌ふ花繪巻　若草映畫劇場

第十三期決算公告　貰子　膽寫用品

京城婦人病院　産婦人科・レントゲン科　院長醫博 松本米治　艶麗光澤寫眞　ひかり社　毛をはやす新療法　森下みや子　食用茸の人工栽培傳授書 おいしい茸が家庭で作れる 平松食用茸栽培所

京城名物　第十八回公演　城寶樂劇隊　絶對に面白い四本立！廿八日ヨリ連續三回　京城寶塚劇場

夕刊 京城日報
皇紀二千六百三年 昭和十八年十月二十八日（木曜日） 京城日報 （市内版） 明治卅九年九月八日第三種郵便物認可 第一萬二千九百三十七號

必勝の決意を宣揚
建設的な質疑展開
兩院の審議最高潮に達す
第二日目

【東京電話】議會第二日の廿七日の衆議院は午前九時より豫算總會を開きこれと併行して貴衆兩院は一齊に各部別委員會を開會徹底的に全力を傾注した、すなはち貴族院は廿六日の委員會では工業所有權法、兵役法改正二法案を決定廿七日は殘余の先議案件防空法、裁判所構成法外二件の審議を續けこれを決定して午後の本會議に逐次上程可決のうへ衆議院に送附さらに衆議院より送附の豫算案および各法案を順次上程政府の提案理由説明あつて委員附託とした、一方衆議院は豫算總會において中島彌團次（外交と内政）松村光三（商工生産と勞務）松村謙三（食糧問題）安藤正純（教育）中村三之丞（財政）堀内一雄（國内防衛）田中貢（價格と配給）の各氏より熱烈なる建設的質疑を展開、政府を鞭撻するとゝもに必勝の國民的決意を宣揚したが、これと併行して廿六日政府の説明を聽取した、商工省關係法、軍需會社法、會計法の三特別委員會も開會と同時に眞劍な質疑に入り豫算總會、各特別委員會とも最終決定を行ふ豫定である、かくて衆議院は午後一時半本會議を開會、貴族院より送附の法案を逐次上程政府説明後委員會に附託、豫算ならびに先議八法案を各委員會の決定あり次第順次上程可決ののち貴族院に送附する段取で兩院の審議は最高潮に達した、なほ衆議院では同日の本會議において出征議員に對し感謝の辭を呈し島田俊雄氏の勤續廿五年表彰を行つた

衆議院本會議
重ねて勅語を賜ふ

【東京電話】松本、岡田貴衆兩院議長は廿七日午前十時四十分宮中に參内、同十一時鳳凰間においてかしこくも天皇陛下に拜謁仰付けられ勅語奉答文を奉呈、之に對し畏くも天皇陛下には重ねて優渥なる勅語を賜つた

勅語
朕ハ貴族院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス
朕ハ衆議院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス

共存共榮、互惠互讓
外相、帝國の信念を説く

【東京電話】廿七日の衆議院豫算總會は午前九時十三分開會、直ちに質疑に入り中島彌團次氏（東京）の質問に對し

重光外相 大東亞建設は域内諸民族の自發的協力が基礎になる、その爲には平等互惠の觀念をもつて當らねばならぬ、即ち互讓敦睦の精神をもつてすれば大東亞諸民族は自發的に奮起すると思ふ、しかしてこれは單に大東亞のみならず世界に向つて布くべき行動である

中島氏 大東亞戰の眞姿とわが戰爭目的を世界をして徹底的に理解せしめれば米英は戰爭目的を失ひ武器を拋棄するのほかはない、正に政權の育成、泰國の領土還付、ビルマ、比島の獨立など世界のいづれの國も未だかつてなし得なかつた道義こそ大東亞の眞の姿であり、これを世界に知らしめることこそ外交の要諦である

外相 今次の戰爭は英米の獨占した最大の帝國主義戰爭であり世界を自己の植民地として占據せんとするのが彼らの野望である、彼らは印度は依然として永久に隷屬し得るものと考へてゐる、とくに米國は今次戰爭により世界的米大帝國の建設をたくらんでゐる、敵米英の子弟は遠く祖國を離れた地に於て最も恐れてゐる敵すなはち日本兵と戰つてゐるがこれは何んのためかといふに世界的殖民帝國建設の野望のためにほかならず、しかもこれを他の民族の犠牲において遂行しやうとしてゐるのである

帝國が肇國以來の道義友好の政策を徹し新政策により闡明して以來米英のアジア政策は不思議に惡化したすなはち彼らは自己の陣營に重壓を加へその敗ケ國をもつて世界を支配せんとするのである

彼らは重慶に對し平等互惠政策の空手形を出し、人種差別の概念の深い彼らに拘らず支那人に對して米國は移民法を撤廢したといふ宣傳をしてゐる、また比島の獨立に際しては米議會は狼狽して比島獨立許容の徹底を議會に要求した

しかしながら大東亞は東亞人の戰鬪によつてのみ解放され得る一方チャンドラ・ボース氏の自由印度假政府樹立においても米國は空手形の發行などを行ふかも知れぬが印度民族は同じく印度人の蹶起によらねばならぬ、東亞は東亞人の郷土であり本據である、われわれはこの郷土本據を護らねばならぬ今次戰爭は米英が日本を經濟的武力的に抹殺せんとするもので、もし日本にしてその責務を果し得ぬならば大東亞は米英のため丟殺され搾取されるほかはない

東亞を敵の侵略、壓迫から解放しこれを防衛することこそ今次戰爭の目的である、しかしてまた大東亞の共存共榮はすなはち世界の共存共榮であり東亞は世界に向つて假く文化を交流し人種の差別を撤廢し互惠互讓の精神をもつて世界に貢獻せんとするものであつてこの崇高な精神を抱くが故に今次戰爭必勝の信念を固く持するものである

中島（彌）氏の質問に答辯する重光外相（議會にて）＝電送

中島氏 由來正義に反する帝國の戰爭に成功したことは稀であり何時の戰爭にその例を見るのである、獨立戰爭さへ米國人の郷土を護る爲に蹶起したものであり勝を制したのは武器でなくして精神であるのではないか、大東亞民族の欲するところは共存共榮、互惠互讓の精神のほか何物もないのである、その精神をもつて服ひ叛くのが今日の大中島氏 行政簡素化は決戰行政の根本である、それには官廳の仕事の分量を減らすことゝこれを民間に委ずることが必要である、中央行政の簡素化とは中央行政は企畫と指導監督のみをするといふ意味から地方行政刷新についても道州制を採用せねば決戰化の目的は達せられぬ

東條首相 中央官廳事務の方針は中央各部の事務を根本的に簡素化し地方に委譲するのであり、中央官廳は企畫と指導を行ふ方針である、また地方協議會長は當局所轄大臣を通じないで指示をなし得るやう措置しさらに會長は各大臣の輔佐機關となる位置を開いた、道州制については差當つては行ふ必要はない、しかし根本は官民が新しい觀點に立つてこの戰爭を見詰めてやり直すことが肝要なのである、さうなれば行政をてきぱきやつて行くことは容易だと思ふ（朝鮮へ廻く）

在滿半島農民輔導
第二期五箇年計畫成る

滿洲なる國策の實際に對應して滿洲開拓政策も新たなる觀點工夫を凝し、日滿を一體とする食糧の緊急增産へ決戰態勢の樹立を縮へることゝなり、總督府では滿洲開拓政策基本要綱に則り、更にまた既往の實績に從つて全體的計畫の下、新規入植開拓民の質の向上と既往朝鮮人農民に對する積極的輔導安定を目標として策定したる第二期五ケ年計畫要綱を徹底的に顧慮しその實行目標を決定したので、これを新貝司政局長談話をもつて廿六日發表した

聖業に翼賛
新貝司政局長談

先に決定を見た朝鮮人滿洲開拓第二期五ケ年計畫要綱は滿洲開拓政策基本要綱に則り、更に又既往の實績に鑑み全體的計畫の下に新規入植開拓民の質の向上と既往朝鮮人農民に對する積極的輔導安定を目標として策定したが、大東亞戰爭は日一日と苛烈の度を加へ戰爭完遂の爲今や國家總力を擧げて國防力に邁進せる態勢の確立を必要とするに至つたので滿洲開拓政策も新なる觀點工夫の下に決戰下日滿を一體とする食糧の緊急增産の要請に應へることゝなつた、即ち新規滿洲開拓民に付ては朝鮮農村再編成の線に沿ひ分村計畫を樹立し昭和十七年度以降五箇年間に集團、集合開拓民一萬の農家の要員として召さるゝの光榮に浴するの機が開かれたが、この計畫の實施に關する主要なる點は滿洲國と協議し朝鮮人開拓民は滿洲國民として他民族と共に滿洲開拓の中核として皆々其の本分を盡くしひいて帝國の大陸經營に寄與し得るやう特に意を用ひた

朝鮮人農民に對する

計畫實行目標概要

一、第二期五ケ年計畫に於ける入植戸數は集團集合開拓民二三、五〇〇戸、分散開拓民一七、五〇〇戸とし入植時期は原則として春期とする
二、開拓民の送出は朝鮮の農村再編成に呼應し分村計畫に依るを目標とし分村間の緊密なる連繫に付考慮する
三、開拓民の資質向上のため一般開拓民及び基幹開拓民の訓練を徹底する
四、開拓地の設定に關しては適地調査、給水、土地改良、地方病調査の綜合施設を圖り入植前年に入植地を設定する様努むると共に入植前年度に於て交通通信施設並に家屋の建設を實施する等基礎施設の完璧を期する
五、農業經營に付ては家族の自給的勞作主義に依る有畜農業の經營を原則とし經營の安定と積極的增産を圖る
六、開拓地の經營に付ては適正規模の決定團地計畫の樹立等を促進し速かに年賦償還を開始する樣指導すると共に集團開拓地にありては開拓團が團長を中心とする農村共同體たるに適應し開拓地建設の圓滑なる遂行を期するため適當なる法的措置を講ず
七、分散開拓民の安定を圖るため積極的輔導を講ずると共に漫然渡滿者の地元阻止に付き適切なる措置を講ず
八、既往農民の耕地確保のため計畫的に自作農創定を實施すると共に創定後の維持監督に付き適切なる措置を講ずる、尚中堅指導者の錬成を圖ると共に輔導員の設置を考慮する
九、開拓地指導員制度に關しては指導員訓練所の充實強化を圖る
十、開拓民に對する貸付に關し保證等の措置を講じ指導力の充實を期する
十一、保健醫の要員を確保すると共に開拓地に適應する生活指導に萬全を期する
十二、開拓地教育に付ては教員の要員確保と質の向上を期すると共に教育内容の充實を圖る、尚青少年の錬成、婦女子の啓蒙教化を圖り開拓神社を設立し精神的依據の中心たらしむる
十三、青年義勇隊に付ては差當り毎年一ケ中隊を編成する、女子訓練に付ては女子拓殖訓練所を設置し滿洲開拓事情の普及徹底を圖り花嫁の斡旋に付き適切なる方途を講ずる

熾烈な敵反攻粉碎
海鷲ブーゲンビル島で卅六機撃墜

【南太平洋○○基地廿七日同盟】ブーゲンビル島東岸ブインを中心とするわが陣地に對する敵機の來襲は漸次熾烈化の一途を辿り敵は十月廿一日より四日間にわたり戰爆連合の大編隊をもつて十數回にわたり來襲し來つた、すなはち廿二日には百九十七機、廿三日百七十八機、廿四日百八十七機、廿五日九十機、合計延六百五十二機でわが帝國海軍航空部隊は陸上部隊と緊密なる協同の下にこれを同地上空に邀撃、壯烈な空中戰を交へ、廿二日に十二機、廿三日八機、廿四日七機、廿五日九機、合計卅六機を撃墜確實四機を撃墜せしめたがこの間わが方も未歸還三機地上被損二機のほか飛行場家屋などに若干の損害を被つた

陸鷲、下關を猛急襲
コックスバザー奇襲

【○○基地廿六日同盟】わが陸軍航空部隊の精鋭は廿五日突如○○機の大編隊をもつて西南支那ビルマルート上の要衝下關を急襲し、同市周邊の軍事施設を痛爆、これに大火災を生ぜしめ全機悠々歸還した

【ビルマ前線○○基地廿六日同盟】廿日以降敵英印軍の機先を制してチッタゴン、ナーフ河上流など相ついで敵アラカン反攻の前進基地に對し空よりの攻撃を展開中のわが在ビルマ陸軍航空部隊の精鋭は、更に戰爆連合○○機の大編隊をもつて廿五日白晝敵東部印度の前進補給基地コックスバザー（チッタゴン南方五十哩）に奇襲攻撃を敢行、地上よりする猛烈な砲火を冒して必中の巨彈を投下、同市埠頭を完膚なきまでに爆碎し更に市中の兵舍や倉庫など敵軍事施設數ケ所を爆碎、數ケ所より火災を生ぜしめ全機無事歸還した

敵機、海防を盲爆

【ハノイ廿六日同盟】執拗なる反攻を企圖する在支米空軍は廿四日北部佛印に侵入廿五日に引續き廿六日正午過ぎ又もB24重爆十三機P40戰鬪機六機をもつてハイフオンに來襲、市街を盲爆した、わが方の損害は輕微であつたが、ハイフオン驛附近の建物及び市街安南人部落に損害あり、國官で現地住民若干が死傷した

溌剌たる企業態勢
岸國務相、確立を要望

【東京電話】衆議院軍需會社法委員會は廿七日において岸國務相は同法の提案理由を説明したが、現下の企業につき

生産增強の直接の衝に當るべき企業の態勢は現在なほ在來のまゝで經營上の國家性は必ずしも明かでない、生産遂行上の國家的確保についても何ら格別の考慮が拂はれてゐない、と述べ苛烈な戰爭の要請に應へるとしない

企業の運營は經理上の顧慮や繁雜な手續に煩はされ本來の生産性を充分伸張し得ない狀態にある、從つて政府の施策並に國家意圖は企業の末端まで充分滲透せず國家に對する責務を深く認識しこれを端的に生産活動に具現せんとする努力に缺くるところなしとしない

溌剌たる企業態勢の確立こそ喫緊であると述べ同法の趣旨が企業の國家性の明確化、生産責任制の確立にあることを闡明した、しかして時に企業に對する行政の刷新については現場把握の強力簡素化を期し生産現場に派遣される幹部をして生産擔當者と一體協力の關係に立ち生産實情の把握、生産隘路の打開など生産に關する援助指導に努めしめるほか現場處理を適當とする行政事務については極力現場即決をなし得る如く措置すると述べさらに企業經理上の不安除去の方法に言及し生産品の補償する趣旨により價格調整補給金制度を充分活用するほか本法に基く命令または處分をなしたる場合には必要に應じ補助補償または利益の保障をなすことゝしたと軍需會社の經理上の特點を詳細明示した

女子徴用は行はず
東條首相 衆議院で言明

【東京電話】戰力增強へ女子の徴用問題が決戰下の課題として再三取上げられ徴用是か、非か、かしましい論議を見る矢先、廿七日の衆議院豫算總會で東條首相は松村光三氏（栃木）の質疑に答へ『女子の徴用は家族制度の破壞以外何物もない』と次のやうに言明し、女子徴用論に止めを刺した

『女子徴用は現在では斷じて行はない、米英が女子の徴用を盛んにやつてゐるからとてわが國も尻馬に乘つてやる必要はない、國民の赤誠に訴へることは差支へないが、徴用してまでわが國古來の美風たる家族制度を破壞するやうなことは斷じてしたくない、家族制度の破壞は國家の破壞である、かくして諸君はわれわれの活動できるのも家庭にある妻女や母親のお蔭であることを知らねばならない、繰返していふ女子の徴用は毛頭行ふ意志はない、將來も一切合切やらぬとは言明できぬが少くともこの時代には行はぬ』

總計四萬千餘名
官廳の職員縮減數決る

【東京電話】政府は行政簡素化決戰態勢に即應すべく中央地方を通じ行政官廳の職員の大規模整理を實施する方針を決定、實施細目に關し檢討中であつたが、廿六日の定例閣議に於いて星野書記官長から『各省所廳の職員縮減に關する件』について報告、左の通り決定した、今回決定を見たのは企畫院、內閣及び各省の職員一萬五千九百十三名を決定し爾餘の官廳について縮減の實行した、今回決定を見たのは企畫院、遞信、鐵道兩省の分一千四百八十名節に地方官廳、作業廳、在外公館の分二萬四千八百八十三名、關東局、南洋廳百五十二名合計二萬六千五百十五名で前回の縮減人員と通算すると總計四萬一千六百八名の減員となる

米、大量建艦發表

【ブエノスアイレス廿六日同盟】ワシントン來電＝米海軍長官ノックスは廿六日米國各造船所は輸送船護送用として目下多數のフリゲート艦を建造中であり、來春には米海軍へ八十隻、英海軍へ廿二隻をそれぞれ引渡し得ようと發表した

伊駐日代理大使 プ大佐を任命

【ベルリン廿六日同盟】ベネチヤ來電＝イタリヤ、ファシスト共和政府はオメロ・プリンチピーニ大佐を日本駐在代理大使に任命した旨廿六日發表した、プリンチピーニ大佐は前駐華大使館附陸軍武官兼空軍武官であつた

ソ聯もドニ占領發表

【モスコー廿六日同盟】赤軍最高指揮官スターリン元帥はアリノフスキー軍大將麾下第三ウクライナ戰線軍が廿五日ドニエプロペトロフスクを奪還占領した旨發表した

消息

◇箱崎英一郎（三越社長）就任挨拶のため廿日來城、十一月二日まで半島ホテルに滯在する

獨軍ドニエプル撤收

【ベルリン廿六日同盟】獨軍最高司令部は廿六日正午公報をもつて獨軍はドニエプル灣曲部のドニエプロペトロフスクから撤收した旨發表した

密林中で奮戰のわが陸軍部隊（ニューギニア）

國土防衛茲に鐵壁
議會提出 防空法中改正案内容

【東京電話】國土防衛の大東亞戰爭に際し、國土防衛の萬全を期するため防空法中改正法案が廿六日議會に提出された、現行防空法では民防空の範圍は極めて狹い範圍に限られてをり近く大きな空襲に對しては堪へ得るかどうか不安な點があり最近の歐洲における都市爆撃の實態を見ても衣食住は勿論國民生活の全面にわたりて空襲被害を防止し得る國民防空態勢の確立が急務とされるに至つた、改正案には防空業務の擴張、食糧、衣料、重要都市の工場施設、家屋、人口分散疎開など大都市の要塞化を企圖する規模の大きい民防空への發展が意圖されてあり近く設置される內務省防空總本部の活動と相俟つて一億國民鐵壁の必勝防衛陣の確立が期待される、改正防空案の内容の要點は次の通りである

一、防空業務の範圍の擴張

現行法では防空業務は燈火管制、消防、防毒、避難、救護、監視、通信、警報、援護、防火、防彈、應急復舊と定められてゐるがこの程度の範圍では當面の要求に即應しないものがあるので、さらに範圍を擴大して分散疎開、轉換、防疫、非常用物資の配給、その他勅令の定むる業務を追加してある、これは國民の日常生活がすなはち防空態勢であることを意味しまた目標に巨る敵の空襲に際しても民防空の活動範圍を狹義に限定せんとするもので

（イ）分散疎開は一ケ所に集結した工場、施設、家屋などを必要に應じばらばらにすることを意味し

（ロ）轉換は例へば燈道の轉換や警報のスイッチの如く平常の場合一方が被害を受けても他の一方で間に合ふやうに準備することで生産工場などがその目標とされてゐる

（ハ）其他勅令に定むる業務として防空動員、被害地周の清掃、死傷の措置など緊急多岐の事務が加へられる

以上の業務は各省で分擔するがその運營調整には防空總本部が中心となつて當ることになる

一、施設、事業又は物件の移轉疎開

これは主として生産防空を意味するもので重要な生産施設、危險施設などの移轉或は轉換などを分散疎開、轉換などを命ずることになる

一、一定區域內の家屋施設の疎開

一定の區域とは防空上の重要都市を意味しその區域內を小區域に指定して該區域內に實行に移す新築または家屋の新築或ひは增築を禁止し第一に疎開の實施方法として第一は現存するものを除却するのであるが當局としてはなるべく移轉改築に務める意向で勿論その場合には費用の補助などが行はれる、既に東京に於ては重要工場附近や防空道路の建設などのためその附近家屋の移轉が行はれてゐる

一、一定區域內に居住してゐるものの轉居又は退去

これはすなはち人口疎開であつて居住を定めて轉居を命ずることが出來るもので重要な生産施設、危險施設の近くに居住してゐる者の轉居は非常に困難な問題でこれは即ち勅令によつて明示されることになつてゐる、通過した場合は退去命令を發することも出來るが移轉費などの國庫負擔が考慮されてゐる

一、疎開のため建築規正

建築物の管理權を規正し一定區域內への轉居を制限するため入市制限、家屋、人口の分布を調整するもので疎開を行つても人口の流入者の制限を行はなければならない必要上から一定區域內への轉居を禁止、あるひは制限することになつたが、實施に當つては當然と入市することはこの際止めて貰はうといふ當局の意向である

一、防空施設整備のため

土地家屋などの收容、例へば防空壕の設置あるひは消防、用水などの消防道路建設の必要から土地または附近家屋の立退が必要な場合等ずあつたが、今後は已むを得ない場合には強制的に實行し得ることになる

一、必要に應じ營業の禁止制限

その他の業務の禁止制限または業務を命じ得ること、現在でも警察令の場合は大部分の都市では興業場、飲食店などは警察の指導令の措置として休業をしてゐるが、今後は法規によつて大衆の集まる營業や防衛施設の周邊にあるひは制限を加へる方針である、一方是非ともやつて貰はねばならない業務に對して營業を命ずる、例へば空襲があつた時には如何なる事態に遭つてもその業務を繼續しなければならないといふので醫者、病院、診療所、大衆食堂、生活必需物資の配給店や或ひは放送局、新聞社などがそれである

一、訓練事故者に對する扶助金の給附

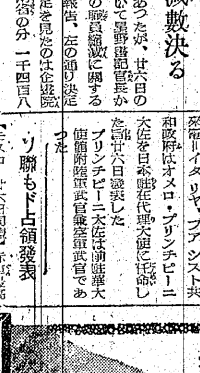
防空訓練は必ずしも從事すべき義務が國民に負はされてゐるが、義務だけを負はして訓練のため死亡または傷病となつても扶助金を出さない現在の規定を改めて扶助金を出すことになり警防團、隣組の防空訓練の事故者にも扶助金を給附する

一、防空に要する費用の負擔

現行法では防空の費用は地方共公團體が負擔し、國がこれに對して補助するといふ建前になつてゐるが、國土防衛は國家的な業務であるといふ見地から國家がこれを負擔し、地方公共團體がこれを分擔することに改める

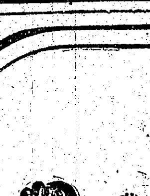
大成火災海上
總べてが勝抜くための重要資材なのです！
戰爭保險
戰爭死亡傷害保險

毛はえ薬 フミナイン
禿頭病●若禿●薄毛●脱毛●腫物
禿●かもじ禿●生際惡き●眉毛薄き●
男女毛髪不足不恰好の人はスグお用ひあれ。
價 九十錢・一圓六十錢 三圓・五圓五十錢
（全國到る處の藥店にあり）
發賣元 東京都芝田村町電車通り 東京藥院
毛生え藥フミナインは皮膚科專門田中醫學博士の創製せられたもので毛生に必要な適度の殺菌作用と興奮作用と榮養作用と兼ね與へて毛髪の發生を促しその脱落及雲脂を防ぎます。

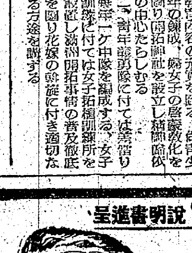


朝夕一粒
心臓・胸・胃の弱い方に！
特種動物ホルモン精膽精藥 救心
動悸、息切れ、熱、ね汗を去り、食慾を增す
『救心』原料の精膽、麝香、熊膽、鹿角、牛黄、眞珠、等は、昔は大名の、護身藥や、重病の救急に、今はホルモン療法に賞用され、内臓への同化が早く抗病ホルモンを增強するので評判！
（藥價）一週分二圓 二週分三圓五十錢 三週分五圓。藥店デパートにあります。
『手當の話本』進呈中
東京市京橋區西八丁堀二丁目十二 救心本舗 電話京橋(55)二〇一〇九〇四番 振替東京七二六番

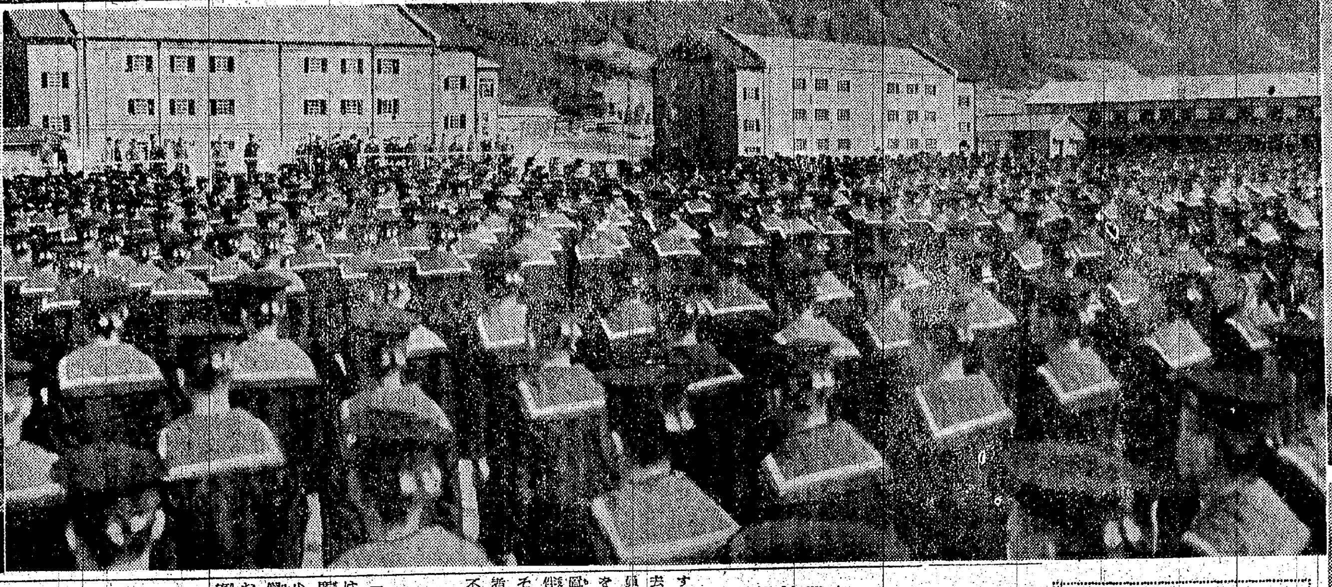
咳と感冒に
効果本位
コフシロ



肌に泌みこむ榮養
皮膚ホルモン
ラセランの効果で
いつも彈力ある
若々しい肌に保つ
マスタークリーム バニシング



詳しい説明書進呈
高血壓 中風は
頭痛・のぼせ・めまひ
舌もつれ・耳鳴・不眠
肩こり・半身不隨
ここが急所
血壓中樞の故障を止めれば安心
ドウシテも治らぬ！ 新學説により本病の急所が後頭部にあることが發見され、更にホルモンの缺乏で忽ち故障し、高血壓、中風に進むことが世界的に認められた
本藥はこの急所回生に特效ある貴重な腦器ホルモンと、定評ある化學的療劑の綜合効果により、腦溢血の前兆たる左記諸症は勿論、永年の中風にも顯著なる奏效は好評です。
延髓 間腦
（價藥）十日分・一圓六十錢 廿日分・三圓 四十日分・五圓五十錢 送料内地廿五錢・其他五〇錢
發賣元 東京都目黑區 原理化學研究所 振替東京八四五四五番
☆全國有名藥店・百貨店に有り。品切の節は振替か爲替で發賣元へ！！
西部代理店・大阪・高橋盛大堂
特殊腦ホルモン主配 急所回生藥
ギャクラミン



寫眞說明 寒く朔風來た、半島海のつわものが擊ちてし止まむの鬪魂を漲らして肅然と整列する、憧れの海兵服姿も颯爽と高く澄む秋空のもと固唾を呑む雨の開所式の莊嚴なひとゝきである、諄々と說く總督の告辭に聽き入る訓練生らは、はるか南溟の果、辛酸勞苦する幾多先輩の奮鬪を偲び"水漬く屍"の決意を昂めるのである【寫眞=告辭を與へる總督（右上）祝辭を述べる後藤鎭海警備府司令長官（下）吉岡訓練所長の式辭（左）中央は第一期訓練生】村井特派員撮影=鎭海警備府檢閱濟=

轉業者に精神訓練
全鮮九ケ所に勤勞訓練所設置

企業整備の具體策決る

苛烈凄愴なる決戰に勝して勝ち拔くため從來の平時的産業は軍需その他重點産業部門へ右へならへ、と一齊に切り替へを斷行する企業整備は愈々本格的となり去る廿五日總督府では企業整備委員會第一回委員會を開き基本方策を決定、轉廢業者及び從業員の措置を具體化したがこれらの整備に伴ひ轉業勞務者のうち直ちに重點その他重要工場等に轉職出來ない者もあるので總督府では心身共に不適應と認められる者に對し皇國勤勞精神を叩き込み心身共に健全なる勞務者に鍛へなほすため京城、平壤、淸津その他全鮮主要都市九ケ所に國民勤勞訓練所（假稱）を設置し主として精神訓練を施し立派な勞務者に叩きなほすことになつた、訓練所の開所は今年中に行ふ豫定であり一回百名、一ケ所で約十日間實施し本府から指導員並に助手、講師を派遣することになつてゐる

小磯總督南鮮を視察

【鎭海にて坂本特派員】鎭海における海軍兵志願者訓練所開所式臨席のため廿六日朝鎭海に到着した小磯總督一行は開所式並に鎭海警備府關係諸施設を視察して鎭海における全日程を終了、宿舍日本旅館に入つたが廿七日は隨行の[illegible]海軍兩御用掛、大野學務局長等と別れ小林秘書官、宇山屬のみ帶同大野慶南知事の案內で午前八時宿舍を出發自動車で三千浦に向つた途中沿道の刈入れ秋耕などの農村事情を視察しつゝ午前十一時三千浦到着、內鮮航路の良港として洋々たる前途を持つ同港の港灣施設を海上より視察、船中で晝食の後午後一時三千浦發成安鄕、郡北面村鑛山視察に向ふ午後からの日程は午後四時郡北着鑛山視察、午後五時五十二分發列車で馬山を經て午後八時十七分三浪津着、午後八時四十二分發『[illegible]』で北行、廿八日午前七時京城の豫定

常磐線で列車脫線顚覆
死傷百卅餘名

【東京電話】廿六日午後六時五十三分常磐線土浦驛で列車事故が發生したが右に關し鐵道省では廿七日左の如く發表した

鐵道省廿七日十一時十分發表 廿六日十八時五十三分常磐線土浦驛構內で貨物入換作業中貨車の脫線せる際、貨物第二五四列車が進行し來たりこれに衝突顚覆大破せるところに上野發平ゆき下り第二一一列車が進行し來り顚覆貨車に衝突して顚覆、客車前部三輛は機關車と折重なり脫線顚覆大破、四車輛目客車は櫻川橋梁より墜落せり、直ちに各方面の協力を得てこれが救護作業を繼續中なるも廿七日午前十一時までに判明せる死者五十七名、重輕傷者七十七名なるもなほ相當多數ある見込み

蔬菜の圓滑配給へ
出荷統制來月から實施

さきに告示された靑果物配給統制令に基いて、リンゴの出荷統制を十月四日から實施してゐるが、こんどは蔬菜物配給規則が總督府廿七日告示され、愈々十一月一日から蔬菜の出荷統制が行はれる、總督府が決定した國民食生活に最も重要な蔬菜を偏在させることなく、その供給の圓滑化を期したもので、これからの蔬菜及び果實は京城府をはじめ八十七の主要都市には指定の蔬菜統制組合、六つの果實組合を指定、これらの地區の生産物はすべて組合を通じて出荷され、各組合では京城、釜山、平壤、淸津その他主要地の中央卸賣市場經由の靑果會社へ集荷、愈々こゝから配給の機構へ入るとなるが、こゝでは府尹が中心となつて設けられた統制委員會の手によつてその用途別、品種別の割當及び價格等を決めて、軍需などの特別用、家庭用、大口消費用（工場、學校、會社、病院など）業務用（旅館、飲食、料理店など）加工用の五つの口に分けて毎月計畫的に配給計畫を樹立する一方、府尹は更に生産者から指定荷受、小賣機關への指定統制も計る

半島の軍援戰線偵察記 【8】
咸南の卷
軍用機獻納全鮮一
前線の自慢慰問袋に郷土色

【新島特派員】三頭咸南が半島はおろか全日本に自慢していいものは何といつても軍用機獻納運動に拔滿された二百萬道民の赤誠だ、大東亞戰爭が勃發して以來既に獻納命名式をあげたもの六十三機……一口に六十三といつても、これだけの獻納機數をあげたところは日本國中步いたつて一寸見あたるまい、もともと咸南の[illegible]、この大なる郷土を[illegible]きあげるため拂はれた道民の熱誠が如何に尊いものであつたか……軍援への熱誠についても、また大東亞戰爭を勝ち拔く鬪魂においても我道民は決して他にひけをとらない、それどころかますます聯を拔いてこれを名實共に昂揚して行つた、その昂揚された一反映を元山府民によつて獻納された山本元帥の報復機に見ることが出來る一度山本元帥戰死の報が傳はるや、十五萬港都民は憤然と起ちあがつた、鬪道に負けるな、この悲しみを胸に深く噛みしめこの怒りを復讐機にたゝきつけよ、そこには[illegible]

うーそして必ず山本元帥の仇を討つんだと府民のあつき熱誠の獻金は[illegible]機に止まらなかつた、聞くまで仇敵を屠靈せずんば止まじの鬪魂は更に物凄い建艦資材の獻納運動となり全道に擴つて[illegible]や家庭鐵の金屬類が續々と供出された元帥を仰ぐ道民の新たなる感激のほどが遺憾なく發揮された、軍艦はもはや單なる軍艦ではない[illegible]

が强い筋金となつて通つてゐる、軍援自慢が既に最も熾烈な戰ひとなつてゐる、援護などといふ生やさしい言葉ではとても表現出來ないほど嚴烈さを帶びて來てゐるのだ、その實例の一實現と脈ふか國民の張り切つた表情に現つて見よう。

永興郡下の全國民學校ではこの夏、咸南の大好物馬鈴薯の獻納運動を起し、毎朝登校の途中には必ず一束づつの馬鈴薯を持參させ、これを數回に分けて軍馬糧として獻納した、少國民の熱誠によつて集められた馬鈴薯を軍隊ではどんなにおいしく食べたことだらう

次に慰問袋に納められた咸南の自慢を公開しよう、このごろ前線から送られる兵隊さんからの便りは殆ど例外なく慰問袋への感謝の言葉で埋まつてゐる、そして[illegible]

るで申し合せたやうに咸南を郷土に持つ將兵が率直に告白してゐる何故であらう……咸南から送られた慰問袋がなんのためにこれ程まで勇士に歡ばれるのだらう……この不思議な謎を公開すれば、咸南ではつとめて郷土色豐かな慰問袋をつくることだ、つまり郷土の名産をどつさり入れて送る、お國自慢のリンゴや實丹や明太やらが季節別にそれぞれ慰問袋の中に納められるのだ

今年はざつと五萬個の慰問袋を四期に分けて送るが、これに季節別の名産がどつさり盛られて行くことはいふまでもない

他に慰問袋後援會の活動、陸軍病院の慰問、遺家族慰問など銃後援護南の自慢話は山ほどある、それら[illegible]

中野正剛氏自殺
原因は不明

【東京電話】衆議院議員第一區選出代議士東方同志會長中野正剛氏は東京都淀橋區代々木本町八〇八の自邸において廿七日午前零時ごろ日本刀で頸動脈を切斷し自殺を遂げた、廿七日午前六時ごろ同家女中が掃除のため同氏の部屋に入つて發見、直ちに代々木署にその旨屆け出たが前田警察醫が駈けつけた時はすでに死後六時間を經過し施す術がなかつた、宛名のない遺書一通があつたが同家は東方同志會其他の關係者で朝來混雜を呈した【寫眞=中野正剛氏】

ラ大統領にム主席祝電

【マドリッド廿六日同盟】ムツソリーニ氏は廿六日ラウレル・フイリピン共和國の建國に當りイタリヤ・ファシスト共和政府主席として大統領にあて新國家の誕生を祝すると共にその獨立を承認する旨の電報を寄せた

紙芝居で養蠶の獎勵
蠶絲統制會が脚本を募集

蠶絲が贅澤とおしやれの素材であつたのは大東亞戰爭以前のこと、今では大空の雄落下傘を初め飛行機の資材、さては不足勝ちな革の代りなどとなつて米英擊滅に不可缺な軍需資材をもつて決戰生産增强に新なる脚光を浴びる秋、我が半島に於ける蠶絲業の現況はどうであらうか、氣候といひ土壤といひ蠶絲生産の最適風土だといはれる半島が遅れも遅れたり全國生産率の一割弱といふ、かくて蠶絲業こそはその風土に加へて生産從事の人的資源に惠まれたる半島に負荷すること大いなるものがある、このとき朝鮮蠶絲統制會社では朝鮮蠶絲會社の本社後援を得て本府農商、農政、情報課指導の下に蠶絲業の健全なる發展を促進するため『蠶絲業宣傳紙芝居脚本』を廣く一般から懸賞募集することになつた

パレンバンに天降つた神兵の落下傘も蠶絲から造られた、敵彈を防ぎ護る忠勇な將兵の防彈衣に、白衣の勇士にかける繃帶の布まで蠶絲から造られる、また蠶絲の副産物に、屑繭、蛹等が織込まれ、蠶沙、蠶蛹、蠶糞等の利用によつて一村一家の振興に輝かしい展望を描き出してゐる、その他蠶業の改良發達を促して蠶絲、蠶種の經營方法の中から國民を淳朴にする事項を取扱つた說話劇化し蠶業をして平和産業なりとした從來の觀念を排除し時局産業としてその重要性が端的に分り易く描かれるやうに扱つたもので應募規程は左の通りである

一、原稿 一齣五百字內外とし二十齣以內、一齣毎に情景を豫想し說明となるやう書くこと、繪畫を附する必要はない

二、原稿送付先 京城府中區旭町一ノ六三朝鮮蠶絲統制株式會社

三、締切 昭和十八年十一月十五日

四、賞金 一等一篇三〇〇圓、二等三篇一篇につき一〇〇圓、佳作には薄謝を贈る（賞金半分は國債）

五、審査 本府農産課、農政課、[illegible]

けふの市況（廿七日）
證券 强保合 實物一巡

【前場】前日來の鐵鋼株の續騰見越し賣物一巡、[illegible]買物が多くしたがつて一般に强保合を示し、底入氣分が濃厚であつた、從つて越月新甫を期待する向きが多くない、なほ長期取引は高周波五十一圓四十錢と變らず、鐘工新四十九圓五十錢と廿錢方戻り、小林七十六圓四十錢から八圓揃みに盛り、日本マグネ六十九圓五十錢と五十錢方軟調、新鐘六十七圓九十錢と十錢安を示した

【後場】（底堅）內地市場は受渡解けにつき臨時休會のため、手掛りには乏しいが、諸株とも大體底堅い成行を辿つた

『實物』動機待

現株は相變らず動機待ちから動きがとれず、諸株とも一進一退を示した商況寂寂、目先特殊な强材料でもない限り最早これ以上の下押しはないものとみられる、主なる出來値左の如し

高周波五〇圓八〇七

時局轉換株に買氣

當限のほぐれ方は頗る順調であり七月末のイタリヤ政變以來次々と現はれた材料も一應織込み濟となつたこと、七月以來の低落で下落相場が推進したことなどにより株價は一應底入れを終つたかの感を呈してきた、臨時議會の快還開と、加ふるに[illegible]上場銘柄の入替へによつて昨今では實物十萬餘株、新鐵が五、六萬株（東京市場）出來てゐれば、先づ多い方である、短期取引が廢止される以前と殆ど變らないのである、當限落ち後の市況は一齊に急騰好調を呈して來るであらうし、現狀から推して新甫も[illegible]部門に壓倒的に進出してある、紡績、人絹など纖維部門を主として[illegible]部門である、紡績會社は航空機部品の操作には相當の紡織技術を要するものもあれば、中には單純で取つ付き易いものもある、新纖維は或程度採込まれたものであり、事業的には航空機關係に協力規模的には中堅會社とみられるものが多く買はれてゐることはいふまでもない

三國再增資

三國石炭工業では十一月一日を期して新株未拂込の廿七圓五十錢を一擧に徵收するが、さらに同社は最近小型鎔鑛爐建設その他に伴ふコークスの需要增大にかんがみ、これが增産を期すべく平壤に工場新設、元山、淸津のビーハイブ工場增設、[illegible]資金は約一千二百萬圓に達するので二百萬圓は借入金によるも一千萬圓は再增資によることゝし、目下當局に認可申請中である

清算出來值（廿七日前場）

銘柄		當	中	先
高周波	寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	引	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘工新	寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	引	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遊仙	寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	引	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小林	寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	引	[illegible]	[illegible]	[illegible]
マグネ	寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	引	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	引	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪長期

銘柄	先	寄	引	銘柄	先	寄	引
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人	[illegible]	[illegible]	[illegible]	帝新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
神戶	[illegible]	[illegible]	[illegible]	三重	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日立	[illegible]	[illegible]	[illegible]	同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]	同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]

特殊長期

銘柄	先	寄	引	銘柄	先	寄	引
不動	[illegible]	[illegible]	[illegible]	東ベ	[illegible]	[illegible]	[illegible]
製鋼	[illegible]	[illegible]	[illegible]	砂鐵	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日華	[illegible]	[illegible]	[illegible]	鐘實	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京長期

銘柄	先	寄	引	銘柄	先	寄	引
富士	[illegible]	[illegible]	[illegible]	同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
清紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	洋紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
片倉	[illegible]	[illegible]	[illegible]	吳羽	[illegible]	[illegible]	[illegible]
帝人	[illegible]	[illegible]	[illegible]	同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
倉絹	[illegible]	[illegible]	[illegible]	大東	[illegible]	[illegible]	[illegible]
レ新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	帝纖	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日東	[illegible]	[illegible]	[illegible]	麻系	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東麻	[illegible]	[illegible]	[illegible]	日精	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘實	[illegible]	[illegible]	[illegible]	同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日立	[illegible]	[illegible]	[illegible]	昭電	[illegible]	[illegible]	[illegible]
不動	[illegible]	[illegible]	[illegible]	同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
塩糖	[illegible]	[illegible]	[illegible]	電化	[illegible]	[illegible]	[illegible]
沖糖	[illegible]	[illegible]	[illegible]	滿業	[illegible]	[illegible]	[illegible]
窯業	[illegible]	[illegible]	[illegible]	同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日鑛	[illegible]	[illegible]	[illegible]	南滿	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日滿工	[illegible]	[illegible]	[illegible]	同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]	浦賀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
洋汽	[illegible]	[illegible]	[illegible]	同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
石川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
函館	[illegible]	[illegible]	[illegible]	新潟	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三重	[illegible]	[illegible]	[illegible]	神戶	[illegible]	[illegible]	[illegible]

現株仲値（廿七日十一時調）

銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値
◇銀行株		同新	[illegible]	東拓	[illegible]	同新	[illegible]	日航機	[illegible]
鮮銀	[illegible]	京電	[illegible]	同新	[illegible]	日毛	[illegible]	同新	[illegible]
同新	[illegible]	漢水電	[illegible]	米油脂	[illegible]	◇鑛業株		デイゼ	[illegible]
殖銀	[illegible]	同新	[illegible]	◇大陸株		北樺鑛	[illegible]	同新	[illegible]
同新	[illegible]	西鮮電	[illegible]	滿工廠	[illegible]	昭和新	[illegible]	東洋ベ	[illegible]
商銀	[illegible]	同新	[illegible]	同新	[illegible]	同新	[illegible]	日ビス	[illegible]
同新	[illegible]	◇鑛業株		日滿ア	[illegible]	石原産	[illegible]	◇船舶造船	
二新	[illegible]	小林鑛	[illegible]	同新	[illegible]	同新	[illegible]	國際船	[illegible]
三新	[illegible]	無煙炭	[illegible]	鞍山鋼	[illegible]	新鑄鋼	[illegible]	東洋船	[illegible]
貯銀	[illegible]	同新	[illegible]	滿製鉛	[illegible]	北樺油	[illegible]	川崎船	[illegible]
第一	[illegible]	三成	[illegible]	同新	[illegible]	昭和油	[illegible]	同新	[illegible]
朝興	[illegible]	日マグ	[illegible]	滿洲炭	[illegible]	帝石油	[illegible]	川南	[illegible]
信託	[illegible]	製鍊	[illegible]	華北棉	[illegible]	◇化學工業		石川島	[illegible]
朝無盡	[illegible]	遊仙鑛	[illegible]	滿洲炭	[illegible]	日窒	[illegible]	同新	[illegible]
朝鑑	[illegible]	鮮泉炭	[illegible]	中華炭	[illegible]	同新	[illegible]	二新	[illegible]
◇紡績株		三國	[illegible]	東亞煙	[illegible]	電化	[illegible]	三菱重	[illegible]
朝紡	[illegible]	同新	[illegible]	同新	[illegible]	同新	[illegible]	◇製糖株	
同新	[illegible]	朝陽	[illegible]	北支開	[illegible]	日曹	[illegible]	台製糖	[illegible]
京城紡	[illegible]	◇化學工業		中支振	[illegible]	同新	[illegible]	同新	[illegible]
朝織物	[illegible]	高周波	[illegible]	大同産	[illegible]	◇重工業		鹽水港	[illegible]
◇運輸株		龍工	[illegible]	熱河鑛	[illegible]	大同鋼	[illegible]	同新	[illegible]
朝鐵	[illegible]	同新	[illegible]	滿バルプ	[illegible]	小倉鋼	[illegible]	◇電力瓦斯	
一新	[illegible]	弘中	[illegible]	綿バルプ	[illegible]	同新	[illegible]	關東電	[illegible]
二新	[illegible]	同新	[illegible]	◇內地株		ニツケ	[illegible]	關西電	[illegible]
京春	[illegible]	朝鐵機	[illegible]	◇紡績株		神鋼新	[illegible]	◇製紙關係	
京東	[illegible]	國産車	[illegible]	日東紡	[illegible]	昭和電	[illegible]	王子紙	[illegible]
京南	[illegible]	朝石油	[illegible]	同新	[illegible]	日立新	[illegible]	日窒	[illegible]
朝運	[illegible]	同新	[illegible]	日清紡	[illegible]	日輕金	[illegible]	同新	[illegible]
同新	[illegible]	北鮮紙	[illegible]	日紡	[illegible]	石油鑛	[illegible]	日本粉	[illegible]
◇瓦斯株		東輕金	[illegible]	◇人絹株		同新	[illegible]	◇諸株	
南鮮電	[illegible]	朝理研	[illegible]	倉絹	[illegible]	新潟鐵	[illegible]	三菱商	[illegible]
同新	[illegible]	◇諸株		同新	[illegible]	池貝鐵	[illegible]	同新	[illegible]
北鮮電	[illegible]	朝鮮拓	[illegible]	帝人	[illegible]	製鋼	[illegible]	鐘紡	[illegible]
		同新	[illegible]			昭和飛	[illegible]	播磨	[illegible]

大和水軍 (37)
村松梢風作 中一彌畫
來島（五）

『姫路様、貴女のお力を借りなければならぬことが出來ました』

『妾の力とは、どのやうなことでございませう』

『混み入つたことで、一口にお話しも出來ませぬ。公方様のお身の上については、あなた方も御承知のやうに、信長公とお仲違ひをなされたのが原因で、京都をお出ましになり、その後はずつと鞆の假の御館にお住ひで、毛利家と特別のお間柄でございます。信長公は天下に野心をお持ちですから、足利家はあの方にとつては目の上の瘤。それ故兩方が相立つことは難かしいのですけれど、信長公がいかに威張つて見ても、根が尾張の小大名、日本國中の武士を押へるのは源氏の嫡流足利將軍の外はございません。今度信長公と毛利家との合戰となりまして、只今のところ勝負は五分々々とのこと、信長公にとつても、毛利家は第一の大敵でございませう。そこで、信長公から公方様へ和睦の御相談が參つたのです。公方様には目下のところ御自分の軍勢はおありなさいませぬが、何と云つても日本國中の武士の總領ですから、此のお方が毛利側にある間は、毛利氏の威勢が强い道理、そこで信長公としては前公方様と和睦を結んで京都へお迎へ申し公方様を擁り物にして、御自分が天下の政治をお把りにならうといふ思慮です。公方様のお氣持としては、多年お世話をして呉れた毛利を棄てゝ今更信長公と和睦をなさる思召はないですけれども、今度の中國筋の戰の模樣を見るのに、羽柴筑前守が、小寺や別所を討ち亡ぼし、非常な勢で毛利を攻めて居ります。秀吉と云ふ大將は世間でも評判する通り不思議な英傑で、この人が織田家にある上は、當分の事態だと申します。黑田殿に見ても毛利に勝ち味は少うございます。若し毛利が敗ければ、毛利も滅び、公方様も此の儘流浪の御運命となるは知れた事。それ故、何んとかして公方様も立ち、毛利にも大きな怪我のないやうにしたいといふのが、妾の叔父や同志の思慮です。織田方でも黑田官兵衞殿などは叔父と同腹で、信長公からの和睦のお相談を黑田殿から極く祕密で取次いで參つたやうな次第。處で、肝腎の毛利ですが、毛利家は元就公以來兵を蓄ひ、武を練つて來たお家で、殊に吉川、小早川のお二方は世間に聞えた武勇の大將ほどあつて、今更となつて和睦の談などに耳を傾けるやうなことは萬々ございますまい。併しそれといふのも、毛利家には三島、村上といふ海賊衆の味方があるからのこと。いくら羽柴殿が、戰上手でも水軍を敵にまはして海路を斷たれては戰ひに勝味はございません。そこで筑前守も、ぜひとも海賊衆を自分の味方に附けようとし、先日安國寺の和尚様を能島へ使者に立て、毛利と手切れをして織田方に附いて呉れるやうと口說かせたのです。

『其の事なら能島から當家にも報らせがございましたとか、何んでも近いうちに三島の寄合を開いて相談をするとかいふ噂をチラと耳に入れました』

『もう御存知でございますか。噂といふものは何んといふ足の早いものでせう。處が三家の相談を開くまでもなく、能島の村上殿の意中は瞭然と判つてゐるのです。あの人は、如何なる事情があらうとも織田方には附かぬと云つて居ります。因島は何事も能島次第、さうなると、若し來島殿もそれに御同意なされば、水軍は擧つて毛利方といふことになり、事は愈々難かしくなつて參ります』

京日歌壇 （植田敏郎選）

京城 長谷川誠男

秋の夜の沁みゐる窓にこそまして宵宵の眠れば旅の思ほゆ

成鏡 朱本興太郎

大君のみこと畏み男の子わが生命捧ぐる時は來れり

京城 津崎 至

垂乳根をわが操縦の飛行機に乘せむ願ひを必ず遂げむ

永登浦 月俣 重信

あけがたに雨はあがりて冴々し谿の水の齒に沁みるなり

芸能だより

黃海道映畫聯盟の活躍 朝鮮映畫啓發協會の傘下で活躍してゐる黃海道映畫聯盟では九月一箇月で道內廿四箇所を巡映、五萬二百卅人を動員して全道の官廳映畫機關中最高の成績を樹立した、この上映作品は十六ミリ『マレー戰記』を中心とした番組であつた

朝鮮演劇文化協會で獻金興行の申合せ 朝鮮演劇文化協會では先般緊急理事會を開催、演劇、演藝の決戰態勢即應に關する諸種打合せを行つたが、十二月八日の大詔奉戴記念日當日には全鮮の加盟劇團が同日中に得た興行收入の總額を擧げて獻金することに一決した、なほ同席上、農山漁村の奉仕興行積極化、國語劇研究機關の設置等も申合された

『若き姿』の封切 徵兵實施を記念して朝鮮映畫社が製作中の國映畫『若き姿』は既に八分通り完成してゐるがこの封切は內鮮同時全國で十二月一日から公開することに內定した

頑症の 痔と皮膚病に

完璧に近き殺菌消炎力と共に抗病力の强化、旺盛なる代謝機能の賦活等相俟つて効果顯著に對し著效を奏す

痔疾、脫肛、皮膚病（濕疹、皮膚炎、汗疹等）[illegible]

（全國藥局にアリ）

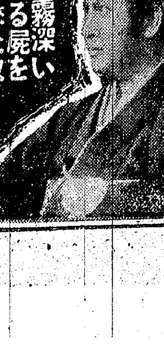
外用 カミツクス

製造元 神戶市[illegible] 山敷新藥部

藤本の投資信託 第十一次賣出

信託期間が三年、[illegible]

京城府黃金町二丁目



奴隷船

大映京都野心篇

演出 丸根贊太郎

文明開化の横濱に霧深い夜、血みどろの生ける屍を船腹一杯に秘めて來た奴隷船の謎巻き起る相次ぐ怪事件！

市川右太衛門

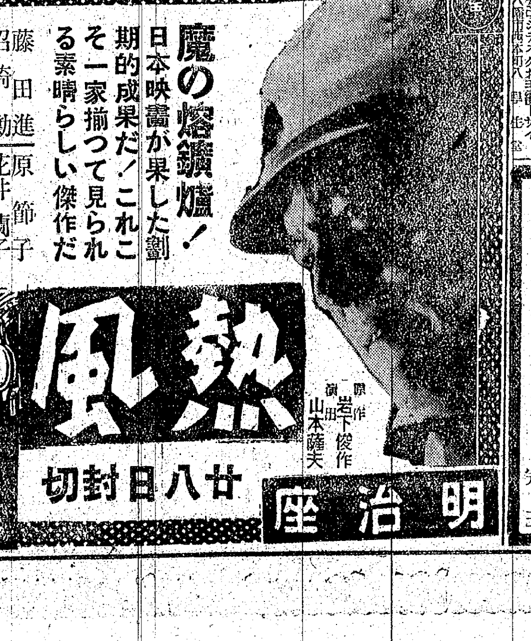
市川春代 橘公子 原健作 羅門光三郎 大井正夫 達初夢

廿八 [illegible]

中央劇場

京城劇場

頭痛にノーシン



魔の熔鑛爐！ 日本映畫が果した劃期的成果だ！これこそ一家揃つて見られる素晴らしい傑作だ

藤田進 原節子 沼崎勳 花井蘭子

熱風

原作 岩下俊作 演出 山本薩夫

廿八日封切

明治座

女の毎月 有ベキモノ止リ人知レズ心配ノ方ヘ安全確實ニ通ズ[illegible]お手紙下サイ 八幡市本町八[illegible]

耳鼻咽喉科 金林

金林 斌

明治町一ノ九・明治座前東一丁角

電本②1278・（替化病院跡）

頭痛ノー[illegible]

朝鮮取引所一般取引員 古野取引店 株式

朝鮮取引所一般取引員 高橋國基商店 京城府南大門通二丁目 電話[illegible]

父定吉儀豫而病氣療養中の處二十六日午後二時遂に永眠仕候間生前中の御厚誼を深謝茲に謹みて御通知申上候 追而葬儀は二十八日午後三時自宅に於て相營み可申候 昭和十八年十月二十七日 京城府中區旭町一丁目一〇〇番地 嗣子 信澤 完貞 堅 三男 吉

わきが 自宅無代進呈 新療法 スツカリとれて治つて皆さんが大喜びです。[illegible] 日本醫藥研究所

清算 現株 案內贈呈 吉村取引店 京城府黃金町二丁目 電話代表本局②8101